# **EPSON**

### マルチメディア・プロジェクター PROJECTOR 取扱説明書

# **EMP-8350**

#### お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。 本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取 扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点 をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見れる場 所に、保証書とともに大切に保存してください。



## 説明書中の表示の意味

#### 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や 財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負 う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が 想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示してい ます。

#### 一般情報に関する表示

〕注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
8 #1>r	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
**	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 🖝 p.114
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタンに 表記されている名称を示しています。 例: [戻る]ボタン、[音声入力]端子
「 (メニュー名) 」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「映像」「明るさ」

#### 「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本 体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。 I

本機の特長	4
使い始めるまでの準備	
リモコンをお使いになる前に	8
電池のセット	8
リモコンの使い方と操作範囲	9
本機の設置	11
設置方法	11
スクリーンサイズと投写距離	12
ネットワークケーブルの接続 ^	13
PCカードのセットと取り出し	14
セット方法	14
取り出し方法	14
コンピュータとの接続 <sup>2</sup>	15
接続できるコンピュータ	15
コンピュータの映像を映す	16
コンピュータを2台以上接続する場合	21
リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)	22
ビデオ機器との接続 2	<u>2</u> 4
コンポジットビデオの映像を映す	24
S - ビデオの映像を映す	25
コンポーネントビデオの映像を映す	26
BSデジタルチューナの映像を映す	27
RGBビデオ映像を映す	28
接続機器の音声を出す	30
外部スピーカから音声を出す	32
ケーブル接続している機器の音声を外部出力する場合	32
EasyMP.net実行中に音声を外部出力する場合	33
外部モニタで投写映像を確認する	34
外部モニタとの接続	34
本機のスタンバイ時に外部モニタで投写映像を確認する	
(スタンバイモニタアウト)	35
ケーブルカバーを取り付ける	36



応用編

困ったときに

付

録

#### 基本操作編

電源を入れ投写しよう	38
電源ケーブルを接続しよう	38
電源ON、投写開始	39
映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能)	41
電源を切り終了しよう	43
投写画面を調整しよう	45
投写サイズの微調整(ズーム調整)	45
ピントを合わせる(フォーカス調整)	46
投写画面の位置調整	46
投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)	49
画質の調整をしよう	54
コンピュータ映像の調整	54
映り具合を選ぶ(カラーモード選択)	57
音量を調整しよう	58
応用編	

便利な機能60
A/Vミュート機能 60
静止機能
Eズーム機能 62
PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能63
エフェクト機能65
プリセット機能67
リサイズ/アスペクト比の切り替え69
プロジェクターID/リモコンID72
環境設定メニューの機能と操作74
機能一覧
環境設定メニューの操作87

#### <u>困ったときに</u>

ヘルプの見方	. 90
故障かなと思ったら	. 91
インジケータの見方	. 91
インジケータを見てもわからないとき	. 94

### 付録

お手入れの方法 102
各部の掃除102
消耗品の交換 104
ユーザーロゴの登録 110
オプション品一覧 112
用語解説
ESC/VP21コマンド一覧117
コマンドリスト 117
通信プロトコル 117
ケーブル配線
USB通信の準備119
対応解像度一覧 120
仕様一覧 122
外形寸法図 124
索引125
各部の名称と働き128
前面/上面/側面 128
底面
背面
本体操作パネル130
リモコン
入出力端子

本機の特長



ネットワークに接続しているコンピュータの映 像を投写したり、インターネットのホームペー ジを表示するなど、多彩な機能を利用できま す。

これらの機能は、EasyMP.netに切り替えてから 操作します。

EasyMP.netをお使いになるときは、 『EasyMP.netセットアップガイド』と 『EasyMP.net 活用ガイド』をご覧ください。





設置する場所を選ばず投写することができます。

 ●高い位置にスクリーンがある場合や、天井の高い部屋で天吊りして投写する場合 投写映像を上下に調整できます。 (レンズシフト機能 ← p.47)

フロントフットで本機を傾けたときの、投写映像の台形ゆがみを補正できます。 (タテ補正 ● p.52)



タテ補正で投写映像の高さが低くなっても高さ 補正できます。(高さ補正 ← p.53)

 スクリーンのサイドから投写する場合
 4つの角を補正するQuick Cornerでスクリーン ピッタリに補正できます。 ● p.49







プレゼンテーション





リモコン操作だけで、重要な箇所をポイン タアイコンで指し示す、直線やフリーハン ドで線を描いてポイント部分を強調する ことができます。 ← p.65





高解像度、高輝度による鮮やかな画面を実現。

また、暗い部屋で投写したり、小さなスク リーンに映す場合など投写映像が明るす ぎるときは、低輝度に切り替えられます。 ← p.84





同梱のリモコンを使い、投写映像を停止す る(静止機能 ← p.61)、大切な部分をズー ムアップする(Eズーム機能 ← p.62)など の操作ができます。

投写中のコンピュータ画面上のポインタ 操作も、リモコンで行えます(ワイヤレス マウス機能 ← p.22)。ワイヤレスマウス 機能を使うと、PowerPointの文書をプレゼ ンテーションするとき、リモコンで次ペー ジ送り、前ページ戻しが行えます。



# 使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明 しています。

リモコンをお使いになる前に	8
 電池のセット	. 8
リモコンの使い方と操作範囲	. 9
●使い方10	
本機の設置	11
	11
スクリーンサイズと投写距離	12
ネットワークケーブルの接続	13
PCカードのセットと取り出し	14
 セット方法	14
取り出し方法	14
コンピュータとの接続	15
接続できるコンピュータ	15
コンピュータの映像を映す	16
● モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合 .16  ● モニタ端子が5BNC端子の場合18	
● モニタ端子が13 w 3端子の場合17 ● モニタ端子がデジタルRGB端子の場合20	
コンピュータを2台以上接続する場合	21
リモコンでマワスボインダを操作する(リイヤレスマワス機能)	22
ビデオ機器との接続	24
コンポジットビデオの映像を映す	24
S-ビデオの映像を映す	25
コンホーネントヒナオの映像を映す	26
DDJ ンラルテューJ UICKWをCIC 9	21
● RGB出力端子がミニD-Sub 15pin端子の場合28 ● RGB出力端子が3BNC端子の場合29	20
接続機器の音声を出す	30
外部スピーカから音声を出す	32
ケーブル接続している機器の音声を外部出力する場合	32
EasyMP.net実行中に音声を外部出力する場合	33
外部モニタで投写映像を確認する	34
	34
本機のスタンパイ時に外部モニタで投写映像を確認する(スタンパイモニタアウト)	35
ケーブルカバーを取り付ける	36
● 取り付け方	

# リモコンをお使いになる前に

#### 電池のセット

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、同梱の乾電池を セットします。



電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートと サービスのご案内』を必ずお読みください。

#### 操作

- 1 電池カバーを外します。 電池カバーのリブ部分を押さえながら、 矢印の方向にスライドさせます。
- 2 電池をセットします。 電池ホルダ内の(+)(-)の表示を確認し、 電池の向きを間違えないようにセットします。
- 3 電池カバーを取り付けます。 電池カバーをスライドさせて、ツメの部 分をカチッと音がするまで差し込みま す。



000



使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなく なった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してくださ い。交換用の電池は単3形アルカリ乾電池2本を用意してください。

#### リモコンの使い方と操作範囲

使い方

リモコンの使い方は次のとおりです。

#### 操作

**1** リモコンの[リモコン]スイッチをONにします。



**2** リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接 当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できない ことがあります。
  - 使い終ったら、リモコンの[リモコン]スイッチをOFFにします。ONのま まだと電池が消耗します。
  - リモコンのスイッチ ON時にボタンが1分間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります(リモコンのスリープモード)。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。

いったんボタンを離して再度操作してください。

#### リモコンをお使いになる前に

#### 操作範囲

リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。 受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲	
約10m	左右約30 ° 上下約15 °	



🏲 🖝 「付録 オプション品一覧」p.112

本機の設置

#### 設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置して ください。

注意

設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートと サービスのご案内』を必ずお読みください。

● 正面から投写する

• リアスクリーンへ裏側から投写する





- 天吊りして正面から投写する
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側 から投写する



天吊り(天井への取り付け)は、特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が 必要です。 ☞ p.113

#### スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。 下記の推奨距離範囲や投写距離の数値は標準レンズを装着した場合のもので す。他のオプションレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明 書』をご覧ください。

推奨距離範囲 104cm~1543cm

次表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してく ださい。値は、設置の目安にしてください。 投写条件やズームの設定により、変 わります。

4:3スクリーンサイズ(cm)	投写距離(cm)
30型(61×46)	104 ~ 146
40型(81×61)	142 ~ 197
60型(120×90)	217 ~ 301
80型(160×120)	293 ~ 404
100型(200×150)	369 ~ 508
200型(410×300)	747 ~ 1025
300型(610×460)	1126 ~ 1543



レンズ中心からスクリーン下端までの高さは、レンズシフトの状態により異な ります。 🖝 p.47

壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。

標準レンズは約1.35倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.35倍の サイズで投写できます。

# ネットワークケーブルの接続

本機には、市販の100baseTX、あるいは10baseTのネットワークケーブルを接続 できます。



# PCカードのセットと取り出し

PCカードスロットには、PCカードや無線LANカード( 
『EasyMP.net活用ガイ ド』の「ネットワーク接続構成例」)などをセットすることができます。

セット方法

PCカードをプロジェクターのPCカードスロッ トに、奥までしっかり差し込みます。

本機のPCカードスロットは2スロットありま す。無線LANカードは上側のスロットにセッ トすると、下側のスロットにメモリカードな どをセットでき、2スロットを有効に使用で きます。



取り出し方法



<sup>E意</sup> メモリカードやメモリカードに保存されているデータが壊れることがあ ります。

PCカードをプロジェクターのPCカードスロッ トから取り出すには、左側にあるイジェクト ボタンを押します。 一度押すとボタンが出て、もう一度押すとPC カードが飛び出します。飛び出したPCカード をまっすぐ引き抜きます。



イジェクトボタンが出たままになっている場合は、折れるなど故障の原 因となりますので、押し込んでください。

# コンピュータとの接続

コンピュータと接続する際は、次の点を確認してください。
 ・ 培結する前に本機とコンピュータの電源を切ってくだ

- - ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。
     向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
  - 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像に ノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

#### 接続できるコンピュータ

ここでは、接続ケーブルを使って、本機とコンピュータを接続する方法を説明します。

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないもの があります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認し てください。

ネットワークを介してコンピュータと接続する場合は、「ネットワークケーブル の接続」(p.13)をご覧ください。

- 条件1:接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること コンピュータに「RGB端子」「モニタ端子」「CRT端子」などの映像信号を出力させ る端子があることを確認してください。 コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接 続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。 詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの 項目をご覧ください。
- 条件2:接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること ●「付録対応解像度一覧」p.120 コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。



 コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータ ケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルを お使いください。

#### コンピュータの映像を映す

コンピュータのモニタ端子の形状や規格により、接続する端子や使用する接続 ケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容を お読みください。

■モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

同梱のコンピュータケーブルで接続します。



・投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「コンピュータ1入力」、または「コンピュータ2入力」で「Analog-RGB」に設定します。 ● p.80
 ・本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ● p.40

モニタ端子が13w3端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニタ端子が13w3端子の場合が あります。

この場合は、市販の13w3 D-Sub15ケーブルを使って接続します。



- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「コンピュータ1入力」、または「コンピュータ2入力」で「Analog-RGB」に設定します。 p.80
  - ・本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 p.40
    - ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

■モニタ端子が5BNC端子の場合

接続する端子、またはお使いの接続ケーブルにより次の2通りの接続方法があり ます。

- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の[コンピュータ1]端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。

   ・「付録 オプション品一覧」
   p.112
- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の [BNC] 端子を市販の 5BNC モニタケー ブル(<u>5BNC</u><sup>▶</sup>・オス-オス)で接続します。

[コンピュータ1]端子と接続する場合





たは「コンピュータ2入力」で「Analog-RGB」に設定します。 🖝 p.80

◆ 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ● p.40



- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「BNC入力」で「Analog-RGB」に 設定します。
- ▲機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(Analog-RGB)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。 p.40

■モニタ端子がデジタルRGB端子の場合

オプションのデジタルI/Fケーブルで接続します。



- オプションのデジタルI/Fケーブルは、お使いのコンピュータのモニタ 端子に合ったものをお選びください。
   「付録 オプション品一覧」p.112
   本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモ
  - 本機に後数の機器を同時に接続して使用する場合は、投与開始後りモ コンの[DVI]ボタンを押すか、または投写映像に「DVI」と表示されるま で本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選 択します。 ● p.40

### コンピュータを2台以上接続する場合

コンピュータを接続できる端子は以下のとおりです。以下の端子すべてにコン ピュータを接続した場合、最大4台のコンピュータを接続できます。 接続の詳細 ☞ p.15~20



#### リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)

コンピュータのUSB<sup>▶</sup>端子と、本機背面の[USB]端子を同梱のUSBケーブルで接続 すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポ インタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/XP Professional	USBマウス	USBケーブル (同梱品)
Macintosh (OS 8.6~9.2/10.0~10.2)	USBマウス	USBケーブル (同梱品)



USBケーブル(本製品同梱品)

ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[ • ][ • ] ボタン で、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

\*1>5

● USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。

Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP

Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップ グレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional 環境下では動作を保証いたしません。

- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があり ます。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- EasyMP.netユニット部分に[USB](Aタイプ)コネクタがありますが、このコネクタはUSBハブとしては使えません。



接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- ポイント 以下の機能を使用しているときは、リモコンでワイヤレスマウス機能は行えません。
  - ・環境設定メニュー表示中 ・ヘルプ表示中 ・エフェクト機能中
  - ・PinP機能の子画面設定中 ・Eズーム機能中 ・Quick Corner設定中
  - ・リサイズ機能のリアル表示中 ・プレビュー機能中
  - ・ユーザーロゴのキャプチャ中

# ビデオ機器との接続



ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
  - ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。
     向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
  - 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像に ノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

#### <u>コンポジットビデオ</u><sup>▶</sup>の映像を映す

市販のRCAビデオケーブルを使って接続します。



RCAビデオケーブル(市販品)



本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコ ンの[Video]ボタンを押すか、または投写映像に「ビデオ」と表示されるま で本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択しま す。 ● p.40

#### S-ビデオの映像を映す

市販の<u>S-ビデオ</u><sup>▶</sup>ケーブルを使って接続します。





本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[S-Video]ボタンを押すか、または投写映像に「S-ビデオ」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。 ● p.40

#### コンポーネントビデオの映像を映す

市販の<u>コンポーネントビデオ</sub><sup>┡</sup>ケーブルと変換アダプタ(3個)を使って接続し</u> ます。



- ・ 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「BNC入力」で機器の信号に 合わせて「<u>YCbCr</u>→」、または「<u>YPbPr</u>→」に設定します。
   ● p.81
  - ◆ 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または機器の信号に応じて「BNC(YCbCr)」または 「BNC(YPbPr)」と投写映像に表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを 繰り返し押して投写する信号を選択します。 ● p.40

BSデジタルチューナの映像を映す

オプションのD端子ケーブルを使って接続します。 ☞「付録 オプション品一覧」p.112



 ● 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「BNC 入力」で「<u>YPbPr</u><sup>→</sup>」に 設定します。 ● p.81

● 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(YPbPr)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。 ● p.40

- BSデジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4規格までのBSデジタルチューナに対応しています。

#### RGBビデオ映像を映す

RGBビデオは、コンピュータ以外のRGB信号を出力するビデオ機器と接続して 映像を投写する場合に使用します。接続の方法は、以下の2種類があります。 お使いのビデオ機器の端子に合わせて接続してください。

RGB出力端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。



6 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「コンピュータ1入力」、または「コンピュータ2入力」で「RGB-Video」に設定します。 ● p.80

▶ト 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ● p.40

RGB出力端子が3BNC端子の場合

市販のRGBビデオケーブルを使って接続します。



- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」「BNC 入力」で「RGB-Video」に
   設定します。 p.81
- オイント
   本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(RGB-Video)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。

# 接続機器の音声を出す

本機には、最大7Wのスピーカが1個内蔵されています。 音声出力端子を持つ接 続機器(コンピュータやビデオ機器)の音声を本機の内蔵スピーカから出力する ことができます。

[音声入力]端子は、同じ枠内の映像入力端子と1対1で対応しています。

接続に使うオーディオケーブルは[音声入力]端子の形状に合わせて次のいずれ かから選択します。

- ・映像信号を[<u>DVI</u><sup>▶</sup>]、[コンピュータ1]、[コンピュータ2]端子から入力している場合 同梱のオーディオケーブル
- 映像信号を[BNC]、[S-ビデオ]、[ビデオ] 端子から入力している場合 市販のRCAオーディオケーブル
  - 投写開始後、音量を調整することができます。 p.58
     市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使う場合は
     ポイント
     「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

映像信号を[コンピュータ1]端子から入力している場合





# 外部スピーカから音声を出す

オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。

ケーブル接続している機器の音声を外部出力する場合

接続ケーブルを使って接続している機器から音声を入力している場合は、本機の[音声出力]端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続して迫力あるサウンドが楽しめます。

市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ) 3.5mm(ステレオミニジャック) などを使用します。



(市販品)



[音声出力]端子へステレオミニジャックを差し込むと、音声は外部出力 に切り替わります。このとき、本機の内蔵スピーカから音声は出力され ません。

#### EasyMP.net実行中に音声を外部出力する場合

EasyMP.net実行中は、EasyMP.netユニット部分の[SPDIF]端子と5.1ch出力アンプ スピーカを接続し、デジタルの音声をステレオサウンドで楽しめます。 市販のRCAオーディオケーブルを使って接続します。



# 外部モニタで投写映像を確認する

本機に外部モニタを接続すると、投写映像を外部モニタで確認しながら接続機 器を操作し、プレゼンテーションなどを行うことができます。本機が映像を投 写していない場合(スタンバイ状態)でも、本機の入力信号を外部モニタで確認 することができます(スタンバイモニタアウト)。

ー部の液晶モニタ等は接続しても表示できないことがあります。この場合、投写している映像ソースにより、次の対応で表示できるようになることがあります。スタンバイモニタアウト時も同様です。
 コンピュータ映像投写時:コンピュータのリフレッシュレートを65Hz以上に変更します。
 あるいは、マルチスキャン対応のCRTモニタを接続します。
 ビデオ機器の映像投写時:マルチスキャン対応のCRTモニタを接続します。

外部モニタとの接続

外部モニタは、モニタに付属のケーブルで接続します。




- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプの表示も外部 モニタに出力されます。
- A/V ミュート実行中で、投写映像をミュートしている間も、外部モニタには入力信号の映像を映したり、リモコンまたは本体の[入力切替]ボタンを押し、映像を切り替えることができます。A/Vミュート中も外部モニタに映像を映すには、環境設定メニューの「設定」「A/Vミュート」を「黒」に設定します。「青」や「ロゴ」に設定している場合は、外部モニタの表示も投写映像と同じ状態になります。
  - ・台形補正を行っていると外部モニタの映像はゆがみます。
  - ●環境設定メニューの「カラーモード」、「カラー調整」、「黒レベル」、「白レベル」、「リア」、「天吊り」で設定した結果は、外部モニタの表示には反映されません。

## 本機のスタンバイ時に外部モニタで投写映像を確認する (スタンバイモニタアウト)

本機に電源ケーブルを接続しているだけで、[電源]ボタンを押していない(投写 ランプが点灯していない)状態を「スタンバイ状態」と呼びます。

本機がスタンバイ状態でも、接続している機器から映像信号が入力されていれ ば外部モニタに表示して、内容を確認したり、映像ソースを切り替えることがで きます。本機の電源を入れると、外部モニタで表示している映像ソースが投写 されます。

スタンバイモニタアウト機能を使うには、環境設定メニューの「高度な設定1」 「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておきます。 ☞ p.83



# ケーブルカバーを取り付ける

天吊りの状態に設置し、コンピュータやビデオ機器を接続し終ったら同梱の ケーブルカバーを取り付けます。本機背面の入出力端子とケーブルの接合部が 収納されますので、すっきり設置できます。

取り付け方

本機の底面にあるケーブルカバー取り付け口(3箇所)にカバーのツメを差し込 み、カチッと音がするまでケーブルカバーを押し込みます。



ケーブルカバー取り付け口

取り外し方

ランプ交換をするときや、接続ケーブルの取り付け/取り外しをするときは、 ケーブルカバーを取り外して行ってください。

ケーブルカバーの取り外しレバーを「OPEN→」の方向に引き、ケーブルカバーを 取り外します。



# 基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう	38
電源ケーブルを接続しよう	38
電源ON、投写開始	39
映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能)	41
電源を切り終了しよう	43
投写画面を調整しよう	45
 投写サイズの微調整(ズーム調整)	45
ピントを合わせる(フォーカス調整)	46
投写画面の位置調整	46
●スクリーンに対して低い位置や高い位置から投写したとき46	
●スクリーンに対して横から投写したとき47	
●投写画面の位置を上下に調整する(レンズシフト)47	
● フロントフットの調整48	
投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)	49
●スクリーンピッタリに台形補正する(Quick Corner)49	
●縦方向の台形にゆがむ場合の補正(タテ補正)52	
<ul> <li>タテ補正の結果、高さを補正する(高さ補正)53</li> </ul>	
画質の調整をしよう	54
コンピュータ映像の調整	54
●自動調整機能	
● トラッキングの調整55	
●同期の調整56	
映り具合を選ぶ(カラーモード選択)	57
音量を調整しよう	58

# 電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。



投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービ スのご案内』を必ずお読みください。

#### 電源ケーブルを接続しよう

操作

- 1 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。
- 2 必要に応じて、本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。 ● p.15,24 有線LAN接続する場合は、ネットワークケーブルで本機とネットワークを接続します。● p.13 無線LANを使う場合は、無線LANカードを本機のカードスロットにセットします。● p.14
- **3** レンズカバーを外します。 レンズカバー上部に指をかけて外します。
- 4 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。 本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。 す。 のインジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。





#### 電源ON、投写開始

操作

- 1 0インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。
- **2** リモコンを使用する場合は、[リモコン] スイッチをONにします。



- 3 本機に接続されている機器の電源を入れます。 ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。
- **4** リモコン、または本体の[電源]ボタンを 押して電源を入れます。 0インジケータが緑色の点滅に変わりま す。しばらくするとランプが点灯し投写 が始まります。 0インジケータが緑色の点灯に変わるま

で待ちます(約40秒かかります)。



リモコン





▶ ● 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。●「設定」「ノーシグナル表示」p.80

5 複数の機器を接続している場合は、次表を参照し、リモコンまたは本体のボタンで投写したい映像ソースに切り替えます。

プレビュー機能を使って選択することも できます。 ☞ p.41 リモコン



按结决之	選	択するボタン	両面上の実子	
按规师丁	リモコン	本体	回回上の衣小	
EasyMP.net	[EasyMP]		EasyMP.net	
DVI	[DVI]		DVI	
コンピュータ1	[Comp1] <sup>1</sup>	「コンビュータ/001」を 押すたびに映像ソース が切り替わります。 <sup>2</sup>	コンピュータ1(Analog-RGB) <sup>3</sup> コンピュータ1(RGB-Video) <sup>3</sup>	
コンピュータ2	[Comp2] <sup>1</sup>		コンピュータ2(Analog-RGB) <sup>4</sup> コンピュータ2(RGB-Video) <sup>4</sup>	
BNC	[BNC] <sup>1</sup>	[ビデオ/BNC]を押すた びに映像ソースが切り	BNC (Ana log-RGB) $^{6}$ BNC (RGB-Video) $^{6}$ BNC ( <u>YCbCr</u> ) $^{6}$ BNC ( <u>YPbPr</u> ) $^{6}$	
S-ビデオ	[S-Video]	督わりより。 <sup>°</sup>	S-ビデオ	
ビデオ	[Video]		ビデオ	

- 1 ボタンを1回押すと、画面上に環境設定メニューで設定されている信号名が表示され ます。表示されている間に再びボタンを押すと、信号の設定を変更することができ ます。ここで変更した結果は、環境設定メニューの「設定」「コンピュータ1入力」、 「コンピュータ2入力」、「BNC入力」に反映されます。
- 2 画面上に信号名が表示されている間に[コンピュータ/DVI]ボタンを押さないと、 次の映像ソースに切り替わりません。 現在[DVI]、[コンピュータ1]、[コンピュータ2]端子、EasyMP.netのいずれかから入 力している信号を投写している場合は、[コンピュータ/DVI]ボタンを1回押すと 画面上に現在の信号名が表示されます。
- 3 環境設定メニューの「設定」「コンピュータ1入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[Comp1]ボタンを押すと設定を変更することができます。
- 4 環境設定メニューの「設定」「コンピュータ2入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[Comp2]ボタンを押すと設定を変更することができます。
- 5 画面上に信号名が表示されている間に[ビデオ/BNC]ボタンを押さないと、次の映 像ソースに切り替わりません。 現在[BNC]、[S-ビデオ]、[ビデオ]端子のいずれかから入力している信号を投写し ている場合は、[ビデオ/BNC]ボタンを1回押すと画面上に現在の信号名が表示さ れます。
- 6 環境設定メニューの「設定」「BNC入力」で設定されているものが表示されます。 リモコンの[BNC]ボタンを押すと設定を変更することができます。
- 6 EasyMP.netを使う場合は、EasyMP.netに映像ソースを切り替えてから日時設定、ネットワーク設定などを行います。 『EasyMP.net セットアップガイド』の「EasyMP.netのセットアップ」

B	<ul> <li>● 接続機器:</li> <li>されます。</li> </ul>	が 1 台だけ( 。	の場合は、	、[入力切	]替]ボタ	ンを押され	なくても投写
ポイント	●「映像信号	- 弓が入力され	ıていまt	±ん。」と	表示され	ぃたままの	場合は、接続
	をもうー	度確認して	ください。	, ,			
	• ノートタ	イプや液晶-	ー体型の	コンピュ	ータをコ	ンピュー	タケーブルで
	接続した	ときに、映像	が投写さ	れない場	易合は、投	写開始後I	こコンピュー
	タの信号	を外部に出	力させる	設定をコ	コンピュ・	<ul> <li>- 夕側で行</li> </ul>	うってくださ
	しい。						
	次表は、出	出力切り替え	しの一例で	です。詳り	しくはコ	ンピューダ	タの取扱説明
	書の「外部	『出力のしか	た」や「夘	・部モニタ	ヲヘの出ナ	」」などのI	頁をご覧くだ
	さい。						
	NEC製	Panasonic製	東芝製	IBM製	SONY製	富士通	Macintosh
	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、 コントロールパ ネルの調整でミ ラーリングの設 定にする。
	<ul> <li>同一の静</li> </ul>	止映像を長	時間投写	している	と、投写	映像に残像	象が残ること
	がありま	す。静止映住	象は長時	間投写し	ないでく	ださい。	

 EasyMP.netの機能については、『EasyMP.net 活用ガイド』を参照して ください。

## 映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能)

現在、選択している映像ソースを一度に投写し、プレビュー画面を見て映像を切 り替えることができます。

プレビュー機能の操作はリモコンを使って行います。

#### 操作

**1** リモコンの[プレビュー]ボタン を押します。

しばらくすると、右図のようなプレ ビュー画面が投写されます。

プレビューを実行したときに、映像 信号が未入力状態や未サポートの 信号が入力されている端子は、青色 で投写されます。

リモコンの[入力切替]ボタンで投 写したい映像ソースを選択すると、 映像が切り替わります。 アクティブ画面 現在投写中の映像が投写されます。



2 [○]ボタンを傾け、切り替えたい映像を選択します。 赤枠のカーソルを移動させ、目的の映像を 選択します。

 3 [Enter]ボタンを押します。
 選択した映像がアクティブ画面に投写されます。
 再度、[Enter]ボタンを押すと、プレビュー
 機能は解除され、アクティブ画面の映像が 投写されます。

プレビュー機能実行前の映像に戻る場合 は、[ESC]または[プレビュー]ボタンを押し ます。





- ・ プレビュー画面表示中は、アクティブ画面に投写中の映像の音声が流れます。
- イント アクティブ画面に投写中の映像以外は、静止画像で投写されます。
  - Eズーム機能実行中やリアル表示になっているときに[プレビュー]ボ タンを押すと、各機能が解除されてからプレビュー画面が表示されま す。映像を切り替えずにプレビュー機能を終了した場合は、プレ ビュー機能実行前の映像の状態に戻ります。

# 電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

#### 操作

- 1 本機に接続している機器の電源をOFFにします。 すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。
- 2 リモコン、または本体の[電源]ボタンを 押します。 次の確認のメッセージが表示されます。

いいえ:[電源]ボタン以外を押す

リモコン



電源を切りたくないときは、下記以外のボタンを押します。 ・リモコンの場合:[電源]、[⊡]、[⊡]、[☆]、[数字]、[ID]ボタン ・本体の場合 :[電源]ボタン 何も操作しないと、約7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れ

何も操作しないと、約7秒後に目動的にメッセーシが消えます(電源は切れ ません)。



「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温 を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、リモコンの [Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、電源を OFFにしたあと、エアーフィルタの掃除を行ってください。 ● p.103

3 もう一度、リモコンまたは本体の[電源] ボタンを押します。 ランプが消灯します。 しインジケータが オレンジ色に点滅し、クールダウン<sup>▶</sup>が始 まります。 クールダウンの時間は約30秒です。 クールダウンが終了すると、しインジケー タがオレンジ色の点灯に変わります。



●インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンまたは本体
 のボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

オレンジ色で点滅した後、 点灯に変わります。



4 本機を長期間、使用しない場合は、電源 ケーブルのプラグをコンセントから抜 きます。





**5** リモコンの[リモコン]スイッチをOFFにします。



[リモコン]スイッチがONのままになっていると電池が消耗します。使用しないときは[リモコン]スイッチをOFFにしてください。



6 レンズカバーを取り付けます。 レンズにホコリや汚れが付着するのを防 ぐために、使用しないときはレンズカバー を取り付けます。



# 投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

### 投写サイズの微調整(ズーム調整)

ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

- オプションのリアプロ用ワイドレンズを装着している場合は、電動(ボ タン操作)によるズーム調整は行えません。詳細はリアプロ用ワイド
- ポイント レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。
  - 一部分を拡大するEズーム機能もあります。 p.62

#### 操作

リモコン、または本体の[ズーム]ボタンを押して調整します。

標準レンズの場合は、1.35倍まで拡大できます。

リモコンの[5]ボタン、または本体の[W]側を押すと、映像を拡大します。





リモコン

リモコンの[2]ボタン、または本体の[T]側を押すと、映像を縮小します。



さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。 ● p.12

ピントを合わせる(フォーカス調整)



操作

リモコン、または本体の[フォーカス]ボタン を押してピントを合わせます。



投写画面の位置調整

本機をスクリーンに対して上下左右に傾けて設置するときは、以下の調整をしてください。

- スクリーンに対して低い位置や高い位置から投写したとき





レンズシフトで調整しきれない場合は、フロントフットを伸ばして本機を傾けます。
 p.48
 本機を傾けて投写すると、投写画面が台形にゆがむことがあります。その場合は台形補正を行います。



スクリーンに対して横から投写したとき スクリーンの正面から投写できないときは、サ ↔ イドから投写できます。投写した画面が台形 にゆがむ場合は、「Quick Corner」を使ってゆが みを補正します。 ● p.49



投写画面の位置を上下に調整する(レンズシフト)

レンズを上下に移動することにより、投写位置を上下に調整できます。



#### 操作

リモコン、または本体の[レンズシフト]ボタ ンを押して調整します。 リモコンの[6]ボタン、または本体の[△]ボ タンを押すと、レンズが上に移動します。 リモコンの[3]ボタン、または本体の[▽]ボ タンを押すと、レンズが下に移動します。



オプションのリアプロ用ワイドレンズを装着している場合は、電動(ボタン操作)によるレンズシフト調整は行わないでください。詳細はリアプロ用ワイドレンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

#### ┃フロントフットの調整

フロントフットの伸縮を調整することで、上方向に最大9 までの範囲で本機を 傾けることができます。

プロントフットを使い本機を傾けると、投写画面が台形にゆがむことが あります。その場合は台形補正を行います。 ● p.49

#### 操作

両側のフットレバーを両方とも引いたまま、 本機前面を持ち上げると、フロントフットが 伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを 伸ばし、フットレバーを離します。

フロントフットを収納するには、フットレバー を引いたまま、本機をゆっくり降ろします。



投写画面が水平方向に傾いているときは、フロントフットの左右の高さ が合っていません。再度フットレバーで高さを調整するか、左右のフロ ントフットの接地部を回して高さを微調整し、本機を水平になるように 設置してください。



## 投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)

本機は、次の2種類の台形補正の機能を装備しています。 いずれかを選んでお 使いください。

Quick Corner(クイックコーナー)
 投写画面が縦・横両方向の台形にゆがんでいる場合の補正に使います。4つの角を補正して、スクリーンピッタリになるように補正できます。





- 「Quick Corner」と「タテ補正」を一緒に使うことはできません。一方の 補正方式に切り替えると、もう一方の補正状態は解除されます。
- ポイント 傾斜角度が大きくなるほど、投写映像の輪郭部分のピントが合いにく くなります。
  - 台形補正の補正量が大きくなると、文字や罫線などの細かい部分がぼやけます。
  - 台形補正で設定した補正状態は、本機の電源を切っても記憶されます。
     投写位置や角度を変えたときは、補正し直してください。

#### スクリーンピッタリに台形補正する(Quick Corner)

Quick Cornerは環境設定メニューから行います。

本機は、設置する際の傾斜角度が上下約45°、左右約40°までであれば、 Quick Cornerで補正できます。

ただし、次の設定により対応できる角度は小さくなります。

- ・上下方向と左右方向の両方とも傾けた場合。
- ・オプションの投写レンズを装着している場合。
- ・レンズをシフトしたり、ズームを「W」側に設定している場合。

#### 操作

 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。環境設定メニューで 「設定」「台形補正」「Quick Corner」を 選びます。

Quick Cornerの補正画面が表示されます。

**2** リモコンの [Enter] ボタン、または本体 の[自動調整/決定]ボタンを押して補正 する角を画面で選択します。

3 リモコンの [○] ボタンを傾けるか、または本体の[同期+][同期 - ][トラッキング+][トラッキング - ]ボタンを押して角の位置を補正します。



スクリーン

[\$/♪]:調整

[●] :次へ移動 [戻る] :戻る(1秒間押下で初期化)



- 本体の[シフト]ボタンを押したまま、[同期 + ][同期 ][トラッキング+][トラッキング ]ボタンを押すと補正値の変更単位が大きくなり、迅速に補正できます。
  - Quick Cornerの補正画面表示中に、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の [戻る]ボタンを約1秒間押し続けると、補正した結果を初期化できます。
  - Quick Cornerで補正中に、画面に「これ以上調整できません。」と表示された場合は、補正量の限界に達したことを示しています。以下の2点を確認してください。
    - ・目的のスクリーンサイズに適した投写距離になっているか p.12 ・本機を制限以上に傾けていないか ● p.49
  - Quick Cornerで補正中に、映像信号が入力されなくなる、または未サポート信号に切り替わった場合は、補正値が記憶されQuick Cornerを終了します。
  - Eズーム機能中にQuick Cornerの補正画面を表示すると、Eズームは解除されます。
- **4** 補正を終了するときは、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。

縦方向の台形にゆがむ場合の補正(タテ補正)

タテ補正は本体操作パネルと環境設定メニューから行えます。 ここでは、本体操作パネルからの補正方法を記載します。 環境設定メニューからの補正 ●「設定」「台形補正」「タテ補正」p.80

ただし、次の設定により対応できる角度は小さくなります。 ・オプションの投写レンズを装着している場合。

・レンズをシフトしたり、ズームを「W」側に設定している場合。

#### 操作



ク ● タテ補正をすると画面が小さくなります。[ズーム]ボタンで調整して
 ください。 ● p.45

- タテ補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。
   p.75,77
  - タテ補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化し なくなった場合は、タテ補正量の限界に達したことを示しています。
     本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
  - 以下の機能を実行中にタテ補正を行うと、機能は解除されます。
     ・Eズーム ・リアル表示 ・静止機能 ・A/Vミュート

タテ補正の結果、高さを補正する(高さ補正)

タテ補正を行うと画面の高さが低くなります。画面の高さを補正するには高さ 補正で行います。

高さ補正は環境設定メニューから行います。

### 操作

- 1 リモコン、または本体の[メニュー] ボタンを押します。環境設定メ ニューで「設定」「台形補正」「高 さ補正」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニューの 操作」をご覧ください。●p.87
- 2 リモコンの [○] ボタンを左右に 傾けるか、または本体の[トラッキ ング+][トラッキング-]ボタン を押して、投写映像を見ながら高 さを補正します。





**3** 設定が終了したら、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押して環 境設定メニューを終了します。

# 画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

#### コンピュータ映像の調整

#### 自動調整機能

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータのアナログRGB信号を判断 し、コンピュータの映像を最適な状態に自動的に調整します。 自動調整機能で調整されるのは、<u>トラッキング</u>→、表示位置、<u>同期</u>→の3項目で す。



 環境設定メニューの「高度な設定2」「自動セットアップ」を「OFF」に 設定している場合は(初期設定は「ON」)、自動調整機能は働きません。 この場合は、コンピュータの映像(アナログRGB)を投写中に、リモコン の[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、 調整を行います。

リモコン BNC S-Video Video



- Eズーム機能や静止機能を実行しているときにリモコンの[自動調整] ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押すと、実行している 機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、トラッキングと表示位置、同期をそれぞれ調整してください。
- プレビュー機能を実行しているときは、自動調整機能は働きません。

#### トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦 の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のよ うに個別にトラッキング<sup>▶</sup>の調整を行います。



#### 操作

トラッキングの調整は、本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。 環境設定メニューからの調整 ●「映像」「トラッキング」p.75

以下のボタンを押して映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設 定します。

本体の[トラッキング + ]ボタンを押します。 ボタンを押すたびにトラッキングの値が上が ります。



本体の[トラッキング - ]ボタンを押します。 ボタンを押すたびに、トラッキングの値が下が ります。





連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障では ありません。

#### 同期の調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像にち らつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれな い場合は、次のように個別に<u>同期</u>♥調整を行い ます。



### 操作

同期の調整は本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。 ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。 環境設定メニューからの調整 (一「映像」「同期」p.75

以下のボタンを押して映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の 値を設定します。

本体の[同期 + ]ボタンを押します。 ボタンを押すたびに同期の値が上がります。

本体の[同期 - ]ボタンを押します。 ボタンを押すたびに、同期の値が下がります。



本体





トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。

ちらつき、ぼやけは、明るさや<u>コントラスト</u>
 ◆、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

### 映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の5種類の設定があらかじめ記録されています。投写 映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードに よって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
リビング	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。
<u>sRGB</u> ►►	色の標準規格であるsRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGB に設定 して使用します。

#### 操作

カラーモードの選択はリモコンと環境設定メニューから選択できます。 ここではリモコンからの選択方法を記載します。 環境設定メニューからの選択 (一「映像」「カラーモード」p.75,77

リモコンの[カラーモード]ボタンを押すたび に次の順でカラーモードが切り替わります。 ダイナミック プレゼンテーション シアター リビング sRGB ...



モードを切り替えるたびに、画面上に現在の設定 が表示されます。

カラーモードの初期設定値は、次のとおりです。 コンピュータ映像入力時:「プレゼンテーション」 その他の映像入力時:「ダイナミック」



# 音量を調整しよう

本機の内蔵スピーカ、または本機に接続している外部スピーカの音量を調整し ます。

#### 操作

音量は、リモコンと本体操作パネル、環境設定メニューから調整できます。 ここではリモコンと本体操作パネルからの調整方法を記載します。 環境設定メニューからの調整 ●「音声」「音量」p.78

リモコン、または本体の[音量]ボタン を押して調整します。 ☆ 側を押すと音量が上がり、 ↓ 側を押 すと下がります。 調整中は音量ゲージが表示されます。



音量:15 -+

 ・ 音量調整を行っているときに、画面に表示されているゲージの値が変化しなくなったら、音量調整の限界に達したことを示しています。

 ・ 音量の調整結果は、各映像ソースごとに保存されています。

# 応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについ て説明しています。

便利な機能	60
	60
静止機能	61
Eズーム機能	62
PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能	63
エフェクト機能	65
●ポインタアイコンを使う65	
●直線や曲線を描く66	
プリセット機能	67
●「映像」メニューを記憶する67	
●記憶した「映像」メニューを	
反映させる68	
リサイズ/アスペクト比の切り替え	69
りり省える	
● こナオ (渋谷の) 吹像 友与 時に、 ワイドサイズの 映像を映す 71	
プロジェクターID/リモコンID	72
<ul> <li>プロジェクター本体に</li> </ul>	. –
ID番号を登録する72	
●リモコンのID番号を	
登録する73	
環境設定メニューの機能と操作	74
	74
●映像メニュー	•••
<ul> <li>         ・音声メニュー         ・         ・</li></ul>	
<ul> <li>エフェクトメニュー</li></ul>	
<ul> <li>●設定メニュー</li></ul>	
<ul> <li>ユーザーロゴメニュー</li></ul>	
● 高度な設定1メニュー	
● 高度な設定2メニュー	
<ul> <li>●情報メニュー</li></ul>	

# 便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

A/Vミュート機能

映像と音声を一時的に消します。 例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内 容を表示したくない場合に使用すると便利です。 ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますの で、消したときの場面からは再開できません。

#### 操作

リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタ ンを押します。 映像と音声が消えます。

もう一度[A/Vミュート]ボタンを押すと投写を 再開します。

リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る] ボタンを押しても再開します。

映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」 「A/Vミュート」により、次の3種類の中から選択できます。 ← p.80





▲ A/Vミュート機能を実行したときの設定画面が「黒」になっている場合は、 A/Vミュート実行中でも本機に入力中の映像を外部モニタで確認できます。外部モニタで確認しながらリモコンの[入力切替]ボタンで映像ソー スを切り替えることができます。 ● p.34,40





映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。 動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止し たときの場面からは再開できません。

### 操作

リモコンの[静止]ボタンを押します。 映像が停止します。

解除するには再び[静止]ボタンを押します。 リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る] ボタンを押しても解除できます。

リモコン

- 環境設定メニュー、ヘルプメニュー表示中にリモコンの[静止]ボタン を押すと、各メニューは解除されます。
- <sup>₭イント</sup> Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

#### Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。 Eズーム機能の操作はリモコンを使って行います。

#### 操作

- 1 リモコンの [Eズーム⊕] ボタンを押します。 す。 投写中の画面に、ズームを行う中心点を表 すカーソル(ターゲットスコープ)が表示 されます。
- 2 拡大 / 縮小表示したい部分にターゲット スコープを移動させます。 ターゲットスコープの移動は、[○]ボタ ンを傾けて行います。

リモコン





3 [⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。 [♀]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。 画面右下に倍率が表示されます。

[①]ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには[ESC]ボタンを押します。



PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能

現在、投写している画面(親画面)の中に別の映像を小さな画面(子画面)で投写 できます。

親画面にはコンピュータ、またはEasyMP.netの映像を、子画面にはビデオ映像(<u>コ</u>ンポジットビデオ<sup>▶</sup>、S-ビデオ<sup>▶</sup>)を表示できます。

子画面のビデオ映像は、環境設定メニューの「設定」「P in P子画面」で選択しま す。 ← p.80

PinP機能の操作はリモコンを使って行います。

ポイント EasyMP.netのEasy PlayerでMPEG映像を再生中は、PinP機能は行えません。

### 操作

- 1 親画面、子画面に投写する機器を接続し、 環境設定メニューの「設定」「P in P子 画面」で子画面の設定を行ったうえでリ モコンの[PinP]ボタンを押します。 画面の左上に子画面が、左下に操作ガイド が表示されます。
- **2** リモコンの [①] ボタンを傾けると、子 画面の位置を移動できます。





**3** リモコンの[Eズーム]ボタンを押すと、子画面のサイズを5段階で変更できます。



親画面の縦・横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率は下記のとおりで す。

 
 1段階
 2段階
 3段階
 4段階

 約1/3.4
 ◆→→
 約1/3.2
 ◆→→
 約1/3.0
 5段階 約1/2 7

[PinP1ボタンを押したときの、子画面の初期サイズは2段階目の大きさとな ります。

▲ [Enter]ボタンを押すと、操作ガイド画面が消え、子画面の表示位置とサ イズが決定されます。

子画面の表示位置とサイズを決定すると操作ガイドが消えます。PinPを解 除するには、再びIPinPlボタンを押します。

● 子画面の位置は記憶され、次回 PinP 機能を実行したときの子画面の位 置は前回確定した位置になります。

- ポイント 子画面の表示位置とサイズを決定する前に、以下の操作を行うと、親画 面と子画面の音声を切り替えることができます。
  - ・親画面の音声を流す場合:[カラーモード]ボタンを押す
  - ・子画面の音声を流す場合: [A/Vミュート]ボタンを押す

投写中の映像にポインタアイコンを表示させてリモコンで操作したり、直線や 曲線を描くことができます。 この機能を使うと、注目させたい部分をアピールすることができます。 エフェクト機能の操作はリモコンを使って行います。 EasyMP.netを実行中は、エフェクト機能は使えません。 EasvMP.net実行中は、「Easv Marker」を使って線を描いたり、スタンプや文字を入 力したりすることができます。 🖝 『EasyMP.net 活用ガイド』の「プレゼン テーション中に説明書きをする」



環境設定メニューの「エフェクト」でポインタアイコンの種類や大きさ、移 動速度、描く線の色や太さを設定できます。「ポインタ/ライン1」、「ポイン ポイント タ/ライン2」、「ポインタ/ライン3」にそれぞれの設定を登録しておき、 呼び出すことができます。 ● p.79

#### ポインタアイコンを使う

プレゼンテーション中などに、投写映像の説明している箇所をポインタアイコ ンを使って指し示すことができます。

## 操作

- リモコンの[Effect]ボタンを押します。 1 画面中央にポインタアイコンが表示され ます。 [Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ ライン1」「ポインタ/ライン2」「ポイン タ/ライン3」の順で設定されているポイン タアイコンが表示されます。
- 2 [ 〇 ]ボタンを傾けると、ポインタアイコ ンを移動できます。 解除するには、[ESC]ボタンを押します。 ポインタアイコンが消えます。



ポインタアイコン





本機の電源を切るまでは、最後に使用したポインタアイコンの種類が保 持されます。エフェクトを実行すると、最後に使用したポインタアイコ ンが表示されます。本機の電源を切ると、以降は「ポインタ/ライン1」の ポインタアイコンが初めに表示される状態に戻ります。

直線や曲線を描く

プレゼンテーション中などに、投写映像の強調したい箇所に直線を引いたり、フ リーハンドで丸囲みしたりできます。

#### 操作

1 リモコンの[Effect]ボタンを押します。 画面中央にポインタアイコンが表示されます。 [Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ラ イン1」「ポインタ/ライン2」「ポインタ/

ライン3」の順で設定されているポインタア イコンが表示され、一緒に設定してある線 の種類を選択できます。

- 2 引く線の始点を決定します。
  - - 曲線:ポインタアイコンを線の始点に移動 し、[Enter]ボタンを約1.5秒押し続け、 ドラッグモードにします。[Enter]ボ タンが点灯します。
- 3 引く線の終点を決定します。
  - を直線:ポインタアイコンを線の終点まで移動し、[Enter]ボタンを押します。
    - 曲線:ポインタアイコンを線の終点まで移動 します。ポインタアイコンの移動し た軌跡が線として描かれます。 [Enter]または[ESC]ボタンを押しま す。[Enter]ボタンが消灯します。







- 線の始点を設定し終点を決定する間は、[Effect] ボタンを押しても線の太さや色を切り替えることはできません。
  - ・描いた直線や曲線を1本ずつ消すことはできません。エフェクト機能 を終了すると描いたすべての線が消去されます。
- 4 続けて何本か線を描く場合は、手順2~3を繰り返します。 解除するには、[ESC]ボタンを押します。ポインタアイコンや描いた線が消 えます。

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータから入力しているアナログ RGB信号の映像を投写中に限り、環境設定メニューの「映像」の全項目の設定値を 最大10個まで記憶させることができます。 解像度や周波数に応じて設定値を記憶させておけば、リモコンの[プリセット] ボタンを押すだけで現在投写中のアナログRGBの映像に、記憶させた「映像」メ ニューの設定値を反映させられます。

#### 「映像」メニューを記憶する

操作

1 リモコン、または本体の[メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」を選びます。設定内容を記憶させる状態に設定します。 ● p.74



2 設定が終わったらサブメニューの 「プリセット登録」を選択して、リ モコンの[Enter]ボタン、または本 体の[自動調整/決定]ボタンを押 します。



**3**記憶させたい番号 (1 ~ 10)を選択 します。





入力解像度が表示されているプリセット番号は記憶済みです。記憶済み のプリセット番号を選択し、再度記憶させると上書きされます。 4 リモコンの [Enter] ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して「映像」メニューを記憶させます。 記憶させると記憶した入力解像度が表示されます。



記憶した内容を消去するには、環境設定メニューの「映像」「初期化」を 選択してください。ただし、プリセット登録した内容がすべて初期化さ ポイント れます。

記憶した「映像」メニューを反映させる

#### 操作

コンピュータのアナログRGB映像を投写中に リモコンの[プリセット]ボタンを押すと、記 憶した「映像」メニューの設定値が、投写中の 映像に反映されます。

ボタンを押すたびに昇順で記憶したプリセット番号が切り替わります。

画面上に番号と入力解像度が表示されている 間に[プリセット]ボタンを押さないと切り替 わりません。 リモコン



プリセット番号と入力解像度が 表示されます。 |



- 未登録のプリセット番号はとばして切り替わります。

#### リサイズ/アスペクト比の切り替え

EasyMP.net実行中は、リアル表示への切り替えやアスペクト比の変更は行えません。

コンピュータの表示種類を切り替える

コンピュータの映像投写時は、投写サイズいっぱいになるように投写するリサ イズ表示と、入力信号の解像度のまま投写するリアル表示を切り替えることが できます。

コンピュータの映像投写時は、リサイズ表示で投写されます。

#### 操作

リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを 押すたびに、リアル表示/リサイズ表示を切 り替えます。



入力解像度がパネル解像度(1024×768)より小さい場合

リサイズ表示

リアル表示







画面中央に入力信号の解像度 のまま投写されます。

入力解像度がパネル解像度(1024×768)より大きい場合

リサイズ表示

リアル表示



- 入力信号の解像度がパネル解像度(1024 × 768 ドット)と同じサイズの
- ポイント 場合は映像サイズは
  - 場合は映像サイズは切り替わりません。 • SXGA(5:4)の入力信号の場合は、本体の[シフト]ボタンを押したまま [リサイズ]ボタンを押すたびに映像の位置が次のように切り替わりま
    - す。


■ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す

<u>コンポーネントビデオ</u><sup>▶</sup>(<u>YCbCr</u><sup>▶</sup>、<u>YPbPr</u><sup>▶</sup>)、<u>S-ビデオ</u><sup>▶</sup>、コンポジットビデ オ投写時は、<u>アスペクト比</u><sup>▶</sup>4:3と16:9を切り替えることができます。 デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。

#### 操作

リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを 押すたびに表示を切り替えます。



SDTV┡時

16:9出力の映像を4:3のアスペクトで表示すると水平方向に圧縮され縦長の 映像になります。

<u>スクイーズモード</u>
●の映像
を4:3で投写した場合





スクイーズモードの映像を 16:9で投写した場合



#### <u>HDTV</u>┡時

16:9出力の映像を4:3のアスペクトで表示すると、縦方向にいっぱいになるようにリサイズし、表示しきれない左右をカットします。

スクイーズモードの映像を 16:9で投写した場合





スクイーズモードの映像を 4:3で投写した場合



#### プロジェクターID/リモコンID

ショーなどで本機を複数台使用する場合、プロジェクターとリモコンにID番号 を登録すると、ID番号が一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できる ようになります。反対に、リモコンのID番号を「0」に設定すると、プロジェク ター本体のID番号にかかわらず、すべてがリモコンの操作対象になります。

ID番号の初期設定値は、プロジェクター本体が「1」、リモコンが「0」になっ ポイント ています。

#### 】プロジェクター本体にID番号を登録する

#### 操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューで「高度な設定2」「プロジェクターID」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。● p.87

リモコン







2 リモコンの [①] ボタン、または本体の[トラッキング+][トラッキング・]ボタンで登録したいID番号(1~9)を選択します。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押し、ID番号を決定します。



3 設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューを終了します。
登録が終了すると、ID番号が一致する、またはID番号が「0」に設定されている

豆蔵が終うすると、い面もが、致する、よとはい面もかりに設定されているリモコンからの操作以外は受け付けなくなります。

リモコンのID番号を登録する

#### 操作

**1** リモコンの[ID]ボタンを押します。 [ID]ボタンが点灯します。



リモコン



 ブレビュー ブリセット 自動調整

 7
 6

 9

 Wall Shot

 4
 5

 1
 2

 3

 (1)
 0

 (2)
 0

 (3)
 7



現在設定されているリモコンIDを確認したいときは、リモコンの[ID]ボタ ンを押し、[ID]ボタンが点灯したら、もう一度[ID]ボタンを押します。 しばらくすると設定されているID番号の数だけ[ID]ボタンが点滅します。

## 環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。

メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(●p.87)をご覧ください。



#### 機能一覧

映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力解像度」、「ビデオ信号方式」を 除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。
   投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ (Analog-RGB)

映像	表示位置	→調整	
音声	〔 トラッキング	:0000	
エフェクト	同期	: 0	
設定	明るさ	: 0-	+
	コントラスト	: 🛛 Auto 🕽 Manual 🛛 🛃	) + 調整 )
高度な設定1	シャープネス	: 0.	+
高度な設定2	カラーモード	④→選択 [Presentati	ion ]
情報	入力解像度	: 🚺 Auto 🕻 Manual 🛛 🛃	→選択
全初期化			
	「プリセット登録	≹ 🕗 → 設定	
	〔初期化	→実行	
[今]:選択 [①]:入る		[メニ	ユー]:終了

コンピュータ(Digital-RGB)/EasyMP.net

「映像」(	明るさ	: 0 -	+
音声	コントラスト	: () Auto () Manual	●→調整)
(エフェクト)(	<sup>*</sup> シャープネス	: 0-	+
設定	カラーモード	→選択 [Pres	entation ]
ユーザーロゴ	初期化	よう     ま     う     よ     ま     行	
高度な設定1			
高度な設定2			
情報			
全初期化			
[�]:選択 [❶]:入る			[メニュー]:終了

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して調整します。	接続信号 による
<u>トラッキング</u> ₩	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号 による
<u>同期</u> ▶	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整しま す。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさや <u>コントラスト→、シャープ ネス、台形補正の調整で発生することもあります。</u> ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に 調整できます。	接続信号 による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
<u>コントラスト</u> **	映像の明暗の差を調整します。 ・Auto :コントラストを自動で最適値に調整します。 ・Manual :コントラストを手動で調整します。	Auto
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュー タ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できま す。 ・ダイナミック:明るさを重視した、鮮やかでメリハリを 付けた映像にします。 ・プレゼンテーション:明るさを重視した、明るい部屋で のプレゼンテーション用です。 ・シアター :自然な色合いで映画に最適です。 ・リビング :明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム 用です。 ・ <u>sRGB</u> : sRGB規格に準拠した映像にします。 sRGBに設定すると「高度な設定1」「カラー 調整」の色温度が6500Kに固定されます。	プレゼン テーショ ン
入力解像度	<ul> <li>(アナログRGB信号が入力、選択されているときのみ調整可能)</li> <li>使用機器の入力解像度を設定します。</li> <li>• Auto : 入力信号に応じて自動的に設定します。</li> <li>• Manual : 入力解像度を手動で選択します。</li> </ul>	Auto

サブメニュー	機能	初期設定値
プリセット 登録	<ul> <li>(アナログRGB信号入力時のみ登録可能)</li> <li>映像メニューの設定値を登録しておき、リモコンの[プリセット]ボタンを押すことで投写中のアナログRGB信号の</li> <li>映像に、登録しておいた設定値を反映することができます。</li> <li>・プリセット番号(1~10)を選択することにより、現在の設定値を登録します。すでに設定値が登録されているプリセット番号には、登録された入力解像度が表示されます。設定値を変更するときは、登録済みのプリセット番号を選択すると、現在の設定値を上書きすることができます。</li> </ul>	-
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p.86	-

## <u>コンポーネントビデオ</u> (YCbCr<sup>)</sup>、YPbPr<sup>)</sup>)





映像   (	表示位置	→調整	
	明るさ	: 0-	+
エフェクト	コントラスト	: 0-	
設定	色の濃さ	: 0-	+
(ユーザーロゴ) (	色合い	: 0 -	+
高度な設定1	シャープネス	: 0-	+
高度な設定2	カラーモード	④→選択 [Dyna	amic ]
情報	ビデオ信号方式	;∂→選択 [Auti	• ]
全初期化	初期化	→実行	
[令]:選択 [🙂]:入る			[メニュー]:終了

RGBビデオ



映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して調整します。	接続信号 による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
<u>コントラスト</u>	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色の濃さを調整します。	中心値(0)
色合い	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色合いを調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	<ul> <li>映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。</li> <li>5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。</li> <li>・ダイナミック:明るさを重視した、鮮やかでメリハリを 付けた映像にします。</li> <li>・プレゼンテーション:明るさを重視した、明るい部屋で のプレゼンテーション用です。</li> <li>・シアター:自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長 機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明 るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきり させ、見やすい映像にします。</li> <li>・リビング:明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム 用です。</li> <li>・<u>SRGB</u></li> <li>・SRGB規格に準拠した映像にします。 SRGBに設定すると「高度な設定1」「カラー 調整」の色温度が6500Kに固定されます。</li> </ul>	ダイナ ミック
ビデオ信号 方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号が入力、選択されてい るときのみ選択可能) ビデオ信号方式を選択します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して選択します。 ・「Auto」にすると自動的にビデオ信号が選択されます。	Auto
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞ p.86	-

音声メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	15
高音	高音の強弱を調整します。	中心値(0)
低音	低音の強弱を調整します。	中心値(0)
初期化	「音声」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞ p.86	-



「音声」メニューの調整結果は各映像ソースごとに保存されます。

エフェクトメニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
ポインタ/ ライン 1	リモコンの[Effect]ボタンを1回押したときに表示される 内容を設定します。 ・形状 : ポインタアイコンの形状を以下の8種類 から選択します。	形状:蔥
	<ul> <li>・倍率</li> <li>・ポインタアイコンの表示倍率を「100%」、 「200%」の中から選択します。</li> <li>・ラインカラー: 直線や曲線の色を8種類の中から選択します。</li> <li>・ライン幅: 直線や曲線の線幅を「太」、「中」、「細」の中から選択します。</li> </ul>	倍率:100% ラインカラ-: 水色 ライン幅:太
ポインタ/ ライン2	リモコンの[Effect]ボタンを2回押したときに表示される 内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状: 倍率:100% ラインカラ-: 青色 ライン幅:中
ポインタ/ ライン3	リモコンの[Effect]ボタンを3回押したときに表示される 内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状: 🌾 倍率:100% ラインカラ-: 赤色 ライン幅:細
ポインタ移動 速度	リモコンの[ ① ]ボタンを押したときのポインタアイコ ンの移動速度を選択します。 L:遅い M:中間 H:速い	М
初期化	「エフェクト」メニューの調整値をすべて初期値に戻しま す。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p.86	-

### 設定メニュー

時間	会形神正 :
音声	」 日か福止 (タテ補正(Quick Corner ④→調整
エフェクト	P in P子画面 : ()コンポジット ()S-ビデオ
設定	(ノーシグナル表示:00FF 0黒 0青0ロゴ)
ユーザーロゴ	メッセージ表示 : ● ON ● OFF
高度な設定1	A/Vミュート : 0黒 0青 0 ロゴ
高度な設定2	【コンピュータ1入力 🕗 → 選択 [Analog-RGB ]
情報	【コンピュータ2入力 🕗 > 選択 [Analog-RGB ]
全初期化	(BNC入力
	【スリープモード : 0 ON 0 OFF
	(初期化 🕗 ⇒ 実行
[◆]:選択 [❹]:入る	[メニュー]:終了

サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	投写画面のゆがみを補正します。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して補正します。 ・タテ補正 :本体の[台形補正]ボタンによる補正と同 等の機能です。 縦方向の台形にゆがんだ画面を補正しま す。また、高さ補正も行えます。 ・Quick Corner:画面の4つの角を補正してスクリーンピッ タリに合わせます。 補正後、ムラが目立つ場合は、「映像」「シャープネス」で 調整してください。 ● p.75,77	タテ補正: 中心値(0) 高さ補正: 中心値(0) Quick Corner: 無補正
P in P子画面	PinP機能時に子画面として投写する映像信号を、 <u>コンポ</u> <u>ジットビデオ</u> ⋫、 <u>S-ビデオ</u> ⋫から選択します。	コンポ ジット
ノーシグナル 表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。 「OFF」に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ● p.110	青
メッセージ 表示	映像信号やカラーモードを切り替えたときに、映像信号名 またはカラーモード名を画面に表示する(ON)か、しない (OFF)かを設定します。	ON
A/Vミュート	[A/Vミュート]ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 「黒」に設定している場合のみ、A/Vミュート機能実行中で も、外部モニタにそのまま映像を表示できます。 ● p.34 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ● p.110	黒
コンピュータ1 入力	[コンピュータ1]端子に接続している機器に応じて映像信 号を選択します。	Analog-RGB
コンピュータ2 入力	[コンピュータ2]端子に接続している機器に応じて映像信 号を選択します。	Analog-RGB

サブメニュー	機能	初期設定値
BNC入力	[BNC]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
スリープ モード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「0N」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で約30分間操作しないと自動的に投写を終了し、 クールダウン→後、スリープモード(スタンバイ状態)にな ります。(ウインジケータはオレンジ色に点灯していま す。) ・リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写を再 開します。	OFF
初期化	「設定」メニューのうち、「コンピュータ1入力」、「コンピュー タ2入力」、「BNC入力」を除くすべての調整値を初期値に戻し ます。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p.86	-

### ユーザーロゴメニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ● p.110 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して、画面の指示に従って操作します。	EPSONロゴ

#### 高度な設定1メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
スタートアッ プスクリーン	スタートアップスクリーンの表示のON/OFFを設定します。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要 です。 ● p.110 設定を変更した場合は、一度電源を切って、 <u>クールダウン</u> 終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設 定が有効になります。	ON
プログレッシ ブ変換	<ul> <li>(コンポジットビデオ/S・ビデオ/コンポーネントビデオ(525i,625i)信号入力時のみ設定可能)</li> <li><u>インタレース</u>→(i)信号を<u>プログレッシプ</u>→(p)に変換する ときに使います。</li> <li>*OFF」に設定すると、インタレースのまま投写されます。</li> <li>*OFF : IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。</li> <li>*ビデオ: フィルム判定機能→を0FFにします。</li> <li>*フィルム/Auto:通常はこの設定で使用します。自動的に映画ソースかどうかを判断し、映画の場合は <u>3-2プルダウン機能</u>→が働き、オリジナルとそん 色のないフィルム映像を再現します。</li> </ul>	フィルム/ Auto
カラー調整	<ul> <li>映像ソースごとに、映像の<u>色温度</u>→とRGB(赤緑青)の各色の強さを調整します。</li> <li>・色温度:白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。</li> <li>●温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。</li> <li>●温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。</li> <li>リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。</li> <li>・RGB:リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。</li> <li>・RGB:ロービスの(緑)、B(青)の項目をそれぞれ調整します。</li> <li>調整は画面の状態を見ながら行ってください。</li> <li>「映像」「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。</li> </ul>	色温度: 接続しり なる

サブメニュー	機能	初期設定値
黒レベル	白レベルを変えずに、黒側の明るさだけを調整します。 ショーなどで本機を複数台並べて投写する場合に、投写映像の黒レベル(黒側の明るさ)を合わせるのに使います。	中心値(0)
白レベル	黒レベルを変えずに、白側の明るさだけを調整します。 ショーなどで本機を複数台並べて投写する場合に、投写映像の白レベル(白側の明るさ)を合わせるのに使います。	中心値(0)
リア	リアスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
天吊り	天井に取り付けて投写するときに使います。 「0N」に設定すると投写映像が180 回転し、逆さまに投写さ れます。	OFF
待機モード	本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視・制御 機能やスタンバイモニタ機能を働かせる場合は、「ネット ワーク有効」に設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、 <u>クールダ</u> ウン▶終了以降、設定が有効になります。	ネット ワーク 無効
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して選択します。	日本語
初期化	「高度な設定」メニューのうち、「リア」、「天吊り」、「言語」 を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p.86	-

高度な設定2メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投 写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。 「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力や騒音が減り、 ランプ寿命が延びます。	高輝度
プロジェクター ID	本体のID番号を設定します。 ☞ p.72	1
ネットワーク	本機では、この項目は選択できません。 ネットワークに関する設定は、EasyMP.netのメニューから 行います。 ● 『EasyMP.net 活用ガイド』の「EasyMP.net の各種設定を行う(Easy Configuration)」	-
通信ポート	コンピュータと通信を行う場合のポートをRS-232CとUSBの どちらを使用するかを設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、 <u>クールダウ</u> ン▶終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以 降、設定が有効になります。	RS-232C
自動セット アップ	入力信号がコンピュータのアナログRGB映像に切り替わった ときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整機能の ON/OFFを設定します。	ON
BNC Sync ターミネーション	<ul> <li>[BNC]端子のターミネーションモードを設定します。映像の端末処理を行えます。</li> <li>・ON : アナログ(75)で終端します。</li> <li>・OFF : TTL(通常のPCから出力される信号レベル)入力します。</li> <li>通常は「OFF」で使用します。スイッチャなど、アナログ(75) 終端が必要な場合は「ON」に設定します。</li> </ul>	OFF
初期化	「高度な設定2」メニューのうち、「プロジェクターID」を除く すべての調整値を初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期 値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞ p.86	-

#### 情報メニュー

- ●「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- •「ランプ点灯時間」は、0~10時間まではOHとして表示されます。10時間以上は 1時間単位で表示します。

コンピュータ(Analog-RGB、Digital-RGB)/<u>コンポーネントビデオ</u>\*\* (YCbCr\*\*、YPbPr\*\*)/RGBビデオ ビデオ (<u>コンポジットビデオ</u><sup>\*</sup>、<u>S-ビデオ</u>\*)



EasyMP.net



サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯 時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表 示されます。	OH
ランプ点灯 時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ 点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMP.netの場合は表示 されません。)	
ビデオ信号 方式	ビデオの信号方式を表示します。 (コンピュータ、コンポーネントビデオ、RGBビデオ、 EasyMP.netの場合は表示されません。)	-

サブメニュー	機能	初期設定値
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
<u>同期</u> ₩極性	同期の極性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
<u>リフレッシュ</u> レート	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

全初期化メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」など各メニューごとに設定を初期値に戻 すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行し てください。 ・「コンピュータ1入力」、「コンピュータ2入力」、「BNC入力」、 「ユーザーロゴ」、「言語」、「プロジェクターID」、「ランプ点 灯時間」は初期値に戻りません。	-

#### 環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンと本体のどちらからでも操作できます。

#### 操作

- 1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。 環境設定メニューが表示されます。
- 2 メインメニューで項目を選択します。 リモコンの場合は、[①]ボタンを上下に 傾けて項目を選択します。 本体の場合は、[同期+][同期-]ボタンを 押して項目を選択します。 サブメニューがメインメニューで選択し た項目に合わせて変わります。
- 3 項目を決定します。 リモコンの場合は[Enter]ボタンを押して 項目を決定します。 本体の場合は[自動調整/決定]ボタンを押し て項目を決定します。 サブメニューにカーソルが表示され設定 できる状態になります。
- 4 設定を行う項目を選択します。 リモコンの場合は、[○]ボタンを上下に 傾けて選択します。 本体の場合は、[同期+][同期 - ]ボタンを 押して選択します。



「映像」メニューや「情報」メニューは、 投写している映像ソースによって表 示される項目が異なります。







スタートアップ	ブスクリーン: <b>(</b> ON <b>(</b> )OFF
プログレッシン	プ変換
0 OFF	0 ビデオ 0 フィルム/Auto
カラー調整	: ()色温度 () RGB (
黒レベル	:0 - +
自レベル	:0 - +
リア	: OON OOFF
天吊り	: OON OOFF
(待機モード	:
( 0ネットワ・	−ク有効 0ネットワーク無効
言語	→選択[日本語]
初期化	→実行

#### 5 調整値を選択します。

リモコンの[①]ボタンを傾ける、または本体の[トラッキング+][トラッキング-]ボタンを押して、調整値を変更します。 現在設定されている項目は①が緑色になっています。リモコンの[①]ボタンを傾ける、または本体の[トラッキング+][トラッキング+][トラッキング-]ボタンを押して設定値を選択すると、選択した設定値の①はオレンジ色で表示されます。リモコンの[Enter]ボタンまたは本体の[自動調整/決定]ボタンを押して確定すると、①が緑色に変わります。



- ・設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに
   ・マークが表示されています。この項目の場合はリモコンの [Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押した後、 調整値を選択します。
   ・各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。
- 6 続いて他の項目も同様に設定します。 手順2~5と同様です。1つ前の階層に戻るには、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押します。
- 7 環境設定メニューを終了します。 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。



# 困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

#### ヘルプの見方

90

故障かなと思ったら	91
 インジケータの見方	91
インジケータを見てもわからないとき	94
●映像に関するトラブル95	
●その他のトラブル100	

## ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階 層を進んでいきます。

#### 操作

- リモコン、または本体の[ヘルプ]ボタン を押します。
   ヘルプメニューが表示されます。
- 2 項目を選択します。 リモコンの場合は、[①]ボタンを上下に 傾けて項目を選択します。 本体の場合は、[同期+][同期 -]ボタンで 項目を選択します。







リモコン

入力切替 ·······

ESC

3 項目を決定します。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の [自動調整/決定]ボタンを押して項目を決 定します。



4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。 [ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。



へルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」 (● p.91)をご覧ください。

## 故障かなと思ったら

故障かな?と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジ ケータの見方」で本機の状態をご確認ください。 インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわか らないとき」を参照してください。 ● p.94

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、次表を参照してください。

#### ■■■:点灯 📜 💶 🗧 :点滅 💷 二:消灯

状態	原因	処置または状態
→ → → → → → → → → → → → → →	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコー ルセンターに修理を依頼してください。 ☞ 裏表紙
	ファン異常/ センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコー ルセンターに修理を依頼してください。

			· · · ·	_		
		-ENT	_	· · ·	上记书	· 3光//T
			_			; ; <b>H</b> X I
_	•	V////J	-		///////////////////////////////////////	 • • • • • • •

状態	原因	処置または状態
ں چ ا	ランプ異常/ ランプ点灯失敗/ ランプ切れ	ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認 します。 ●「ランプの交換方法」p.105 割れていなければ再セットし、電源を入れます。 それでも直らないときは、新しいランプと交換し てください。 以上の処置を行っても直らないときはご使用をや め、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ の販売店またはエプソンサービスコールセンター に修理を依頼してください。 ● 裏表紙
		ランプが割れている場合 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコー ルセンターにランプ交換を依頼してください。 (交換しないと映像を投写することはできませ ん。) ● 裏表紙
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられてい るか確認してください。ランプおよびランプカ バーが確実に取り付けられていない場合は、ラン プが点灯しません。
	内部高温異常 (オーバーヒート)	<ul> <li>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。 約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、 電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。</li> <li>エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、 壁際に設置されていないか確認してください。 ● p.12</li> <li>エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除 または交換をしてください。● p.103</li> <li>電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入 れ直します。 上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状 態になったり、電源を入れ直したときにインジケー タが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラ グをコンセントから抜き、お買い上げの販売店また はエブソンサービスコールセンターに修理を依頼 してください。● 裏表紙</li> </ul>
	高速冷却中	<ul> <li>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。)</li> <li>エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、 壁際に設置されていないか確認してください。</li> <li>● エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除または交換をしてください。</li> </ul>

■■ : 点灯 : 点滅 □□ : 消灯

状態	原因	処置または状態
じ オレンジ ☆	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。 ● p.105 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する 可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいラ ンプと交換してください。 ● インジケータは、そのときのプロジェクター の状態により異なります。
オレンジ ひ <b>一</b> ※ 一 ↓ 一	スタンバイ状態	(異常ではありません。) リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写 を開始します。 電源を切って終了する場合は、この状態でコンセン トから電源プラグを抜いてください。
ు <b>:</b> ా: •:	ウォームアップ 中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。ウォームアッ プの時間は40秒です。ウォームアップ終了後、緑色 の点灯に変わります。
ి <b>—</b> స: ቆ	投写中	(異常ではありません。)
オレンジ ひ <b>う 一</b> ぐ 一 ・	クールダウン中	<ul> <li>(異常ではありません。)</li> <li>そのまましばらくお待ちください。</li> <li>クールダウン<sup>▶</sup>の時間は約40秒です。</li> <li>クールダウン中はリモコン、または本体の[電源] ボタンは操作できません。クールダウンが終了 し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度 操作してください。</li> </ul>

インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されて いないか、または電気が供給されていません。

インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

### インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内 容をご覧ください。

- (映像に関するトラブル)
映像が表示されない  ☞ p.95 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど
自動的に投写が消える 🖝 p.95
「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される ☞ p.96
「映像信号が入力されていません。」と表示される 🖝 p.96
ぼやける、ピントが合わない 🖝 p.97
ノイズが入る、乱れる ☞ p.97 ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど
切れる(大きい)、小さい ● p.98 映像の一部分しか投写されないなど
色合いが違う ● p.98 全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクター での投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではあり ません。)
暗い、明るすぎる 🖝 p.99
外部モニタに表示されない 🖝 p.99

リモコンで操作できない **一**p.100



#### 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しました か?	リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を 入れます。 リモコンは[リモコン]スイッチをONにしないと操作 できません。 ← p.39
A/Vミュートの状態になって いませんか?	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押し てA/Vミュートを解除します。 ☞ p.60
「ノーシグナル表示」を「OFF」 にしていませんか?	環境設定メニューの「ノーシグナル表示」を「OFF」に設 定しているときは、「黒」または「青」に設定して、メッ セージを表示させてください。メッセージが表示さ れたときは、それぞれの項目を参照してください。 ●「設定」「ノーシグナル表示」p.80
環境設定メニューの設定で間 違っているものはありません か?	全初期化してみてください。 ← p.86
入力映像そのものが真っ黒に なっていませんか? コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっ ていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか? ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ <sup>▶</sup> 、 <u>S-ビデオ</u> <sup>▶</sup> を接続している 場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデ オ信号方式を選択してください。 ●「映像」「ビデオ信号方式」p.77

#### 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「ON」にし ていませんか?	環境設定メニューの「スリープモード」を「ON」に設定 した場合、映像信号が入らない状態で約30分間操作 しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき ウインジケータはオレンジ色に点灯しています。リ モコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を 入れます。「スリープモード」を働かせないときは設 定を「OFF」にしてください。 ●「設定」「スリープモード」 p.81

#### 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っ ていますか?	[BNC]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ●「設定」「BNC入力」p.81 コンポジットビデオサ、S-ビデオサを接続している 場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ●「映像」「ビデオ信号方式」p.77
映像信号の周波数や解像度が 対応するモードですか? コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「周波数」で入力中の映像信号を 確認してください。●「情報」「周波数」p.86 コンピュータの解像度・周波数を確認してください。 ● コンピュータの『取扱説明書』など

#### 「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続され ていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確 認します。● p.16~p.29
接続した映像入力端子を正し く選択していますか?	リモコン、または本体の[入力切替]ボタンを押して映像を切り替えます。 🖝 p.40
接続されたコンピュータやビ デオ機器の電源は入っていま すか?	それぞれの機器の電源を入れます。 🖝 p.39
プロジェクターに映像信号が 出力されていますか? ノートや液晶一体型タイプ のコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタ にだけ出力されている場合は、外部にも出力するよう に切り替えてください。外部に映像信号を出力する と、液晶モニタや付属モニタに映像が出せないモデル もあります。 ● コンピュータの『取扱説明書』「外部 出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など
	本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行 うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える [Fn](ファンクションキー)が使えないことがありま す。本機およびコンピュータの電源を入れ直してく ださい。 (← p.39,43

#### ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されてい ますか?	リモコン、または本体の[フォーカス]ボタンを押して ピント調整を行います。 🖝 p.46
レンズカバーが付いたままで はありませんか?	レンズカバーを外します。 🖝 p.38
台形補正の調整値を大きくし ていませんか?	レンズシフト機能を使って投写位置をスクリーンに 合わせるか、投写角度を小さくして台形補正の調整値 を小さくしてください。 (● p.47,49
レンズが結露していません か?	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に 暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼ やけることがあります。ご使用になる1時間くらい前 に使用する部屋に設置するようにします。結露して しまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放 置してください。

#### ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っ ていますか?	[BNC]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ●「設定」「BNC入力」p.81 コンポジットビデオ 場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ 信号方式を選択してください。 ●「映像」「ビデオ信号方式」p.77
ケーブル類は正しく接続され ていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確 認します。 ● p.16~p.29
ケーブルを延長していません か?	ケーブルを延長するとノイズが入ることがありま す。同梱のケーブルを使用して確認してください。
解像度の選択は正しいです か? コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてくだ さい。 ●「対応解像度一覧」p.120 ● コンピュータの『取扱説明書』
「同期 <sup>▶・トラッキング</sup> <sup>▶</sup> 」は 正しく調整されていますか? コンピュータ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調 整/決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動 調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メ ニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもで きます。 ← p.55,56

#### 切れる(大きい)、小さい

確認	対処法
リアル表示になっていません か? アスペクト比の設定は正しい ですか?	リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押してく ださい。 ☞ p.69
Eズーム機能で拡大されたま まになっていませんか?	リモコンの[ESC]ボタンを押してEズーム機能を解除 します。 ☞ p.62
「表示位置」は正しく調整され ていますか?	コンピュータのアナログRGB映像投写時は、リモコン の[自動調整]ボタンまたは本体の[自動調整/決定]ボ タンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定 メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータのアナログRGB映像以外の信号を投写時 は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ●「映像」「表示位置」p.75,77
デュアルディスプレイの設定 をしていませんか? コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの 「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定 をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の 映像が半分くらいしか表示できません。コンピュー タ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディ スプレイの設定を解除します。 <ul> <li>コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』</li> </ul>
「入力解像度」は正しく設定されていますか?	環境設定メニューの「入力解像度」の設定をコン ピュータと合わせてください。 ●「映像」「入力解像度」p.75 ● コンピュータの『取扱説明書』など

#### 色合いが違う

確認 対処法
入力信号の設定が接続機器の 信号と合っていますか?          コンピュータやRGBビデオを[BNC]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で 「YCbCr <sup>™</sup> 」や「YPbPr <sup>™</sup> 」に設定していると、映像が認 紫色がかって表示されます。         コンポーネントビデオ <sup>™</sup> 機器を[BNC]端子に接続 ているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で 「Analog-RGB」に設定していると、映像が緑色がかって 表示されます。         接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

確認	対処法
映像の明るさは正しく調整さ	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。
れていますか?	●「映像」「明るさ」p.75,77
ケーブル類が正しく接続され	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確
ていますか?	認します。 ● p.16~p.29
<u>コントラスト</u> ♥は正しく調整	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してくだ
されていますか?	さい。●「映像」「コントラスト」p.75,77
適切なカラー調整に設定され	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してくださ
ていますか?	い。●「高度な設定1」「カラー調整」p.82
色の濃さ、色合いは正しく調	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整して
整されていますか?	ください。
ビデオ機器投写時のみ	☞「映像」「色の濃さ」、「色合い」 p.77

#### 暗い・明るすぎる

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく 設定されていますか?	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定し てください。 ●「映像」「明るさ」p.75,77 ●「高度な設定2」「輝度切替」p.84
<u>コントラスト</u> →は正しく調整 されていますか?	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してくだ さい。 ●「映像」「コントラスト」 p.75,77
ランプの寿命ではありません か?	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合い が悪くなります。新しいランプと交換してください。 ● p.105

#### 外部モニタに表示されない

確認	対処法
液晶モニタや、マルチスキャ ンに対応していないモニタに 接続していませんか?	<ul> <li>一部の液晶モニタ等は、接続しても表示できないことがあります。この場合、投写している映像ソースにより、次の対応で表示できるようになることがあります。スタンバイモニタアウト時も同様です。</li> <li>コンピュータ映像投写時:</li> <li>コンピュータのリフレッシュレートを65Hz以上に変更してください。</li> <li>コンピュータの『取扱説明書』あるいは、マルチスキャン対応のCRTモニタを接続してください。</li> <li>ビデオ機器の映像投写時:</li> <li>マルチスキャン対応のCRTモニタを接続してください。</li> </ul>

#### その他のトラブル

#### 音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されて	正しい[音声入力]端子にケーブルを接続しているか
いますか?	確認してください。 ● p.30
音量調整が最小になっていま	聞こえる音量に調整してください。
せんか?	☞「音声」「音量」p.58
[音声出力]端子にオーディオ ケーブルが接続されたままで はありませんか?	[音声出力]端子にケーブルのコネクタを差し込むと、 内蔵スピーカから音声が出力されなくなります。 外部スピーカを使わないときは、オーディオケーブル を[音声出力]端子から取り外してください。
A/Vミュートの状態になって	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押し
いませんか?	てA/Vミュートを解除します。 ☞ p.60

#### リモコンで操作できない

確認	対処法
[リモコン]スイッチが「ON」 になっていますか?	「ON」に切り替えてください。 🖝 p.39
リモコンの発光部をプロジェ クターのリモコン受光部に向 けて操作していますか?	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約 30 °、上下約 15 ℃す。 ● p.10
プロジェクターから離れすぎ ていませんか?	操作可能距離は、約 10 mです。 ● p.10 操作可能距離より離れて操作する場合や確実にリモ コンで操作したい場合は、オプションのリモコンケー ブルセットをお使いください。 ● p.112
リモコン受光部に直射日光や 蛍光灯の強い光が当たってい ませんか?	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて 設置してください。
乾電池が消耗していたり、電 池の向きを間違えてセットし ていませんか?	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☞ p.8
リモコンのID番号とプロジェ クターのID番号が一致してい ますか?	リモコンIDを「0」以外に設定しているときは、プロ ジェクターのID番号と一致していないとリモコンで 操作できません。  ● p.72
リモコン、または本機の[リ モート]端子にリモコンケー ブルが接続されたままになっ ていませんか?	[リモート]端子にケーブルのコネクタを差し込むと 本体のリモコン受光部、またはリモコン発光部が働か なくなります。リモコンケーブルセットを使用しな いときは、リモコンケーブルをリモコン、本機のどち らからも取り外してください。

# 付録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくため の補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法	102
<ul> <li>●本体の掃除102</li> </ul>	<ul> <li>エアーフィルタ・吸気口の</li> <li>場除</li> <li>103</li> </ul>
<ul> <li>● レンスの掃除102</li> <li>消耗品の交換</li> </ul>	104
<ul> <li>● ランプの交換時期104</li> </ul>	<ul> <li>ランプ点灯時間の初期化 107</li> </ul>
●ランプの交換方法105	●エアーフィルタの交換方法 108
ユーザーロゴの登録	110
オプション品一覧	112
用語解説	114
ESC/VP21コマンド一覧	117
コマンドリスト	117
通信プロトコル	117
ケーブル配線	118
●シリアル接続118 UCD通信の準備	● USB接続 118
058週信の準備	
対応解像度一覧	120
●コンピュータ/RGBビデオ120 ●コンポーネントビデオ121	● コンポジットビデオ/ S-ビデオ121
仕様一覧	122
外形寸法図	124
索引	125
各部の名称と働き	128
前面/上面/側面	128
底面	129
背面	129
本体操作パネル	130
リモコン	131
入出力端子	

# お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。



) 掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサー ビスのご案内』を必ずお読みください。

#### 本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふ き取ってから乾いた布で仕上げてください。



ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。 ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

#### レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽く ふき取ってください。



レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたり しないでください。 エアーフィルタ・吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇していま す。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセー ジが表示された場合は、エアーフィルタや吸気口の掃除を行ってください。 エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温 度が上昇して故障の原因となります。

底面のエアーフィルタ・吸気口
 本機を立てたまま掃除機で吸い取ります。



側面の吸気口
 本機を水平にしたまま掃除機で吸い取ります。





- エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される 場合は交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。
   ●「付録 オプション品一覧」p.112
- 交換用ランプにも、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

#### 消耗品の交換

ここでは、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明します。

ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージ が表示されたとき





• 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示 されます。
 高輝度で使い続けた場合:約1900時間
 ・低輝度で使い続けた場合:約2900時間
 「輝度切替」p.84
 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが 点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソン0Aサプライ 株式会社フリーダイヤル0120-251-528でお買い求めください。

#### ランプの交換方法



 ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十 分冷えるには、クールダウン<sup>▶</sup>後、約1時間必要です。

#### 操作

1 本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。 クールダウンの時間は、約30秒です。



- 2 ランプが十分冷えてから、本体背面のランプカバーを外します。 ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。 ランプカバー固定ねじ(2個)を、交換用ランプに同梱のドライバ、または+のドライバ、または+のドライバ、が少します。 ねじが外れたら、ランプカバーが落ちないように気を付けて外します。
- 3 ランプ固定ねじ(3本)をゆるめます。 ランプを本体に固定しているランプ固定 ねじ3本を、交換用ランプに同梱のドライ バ、または+のドライバでゆるめます。







4 古いランプを取り外します。 右図のようにハンドルを起こして、片方の 手で落ちないように支えながら、まっすぐ ランプを引き抜きます。 ランプが割れている場合は、お買い上げの 販売店、またはエプソンサービスコールセ ンターにランプ交換を依頼してください。 ● 裏表紙

5 新しいランプを取り付けます。 ランプを収納部の形に合う向きにして、カ チッと音がするまでしっかり押し込み、ハ ンドルを倒し、ツメにかけて固定します。

6 ランプ固定ねじ(3本)を締めます。

7 ランプカバーを取り付けます。 最初にランプカバーの上面側のツメを本体 に差し込み、ランプカバーを取り付けたら、 ランプカバー固定ねじ(2本)を締めます。









12h

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカ バーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの 取り付けが不十分だとランプが点灯しません。

  - 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
#### ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定 時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施 した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要が あります。

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでく ださい。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

### 操作

- 1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。 環境設定メニューが表示されます。
- 2 「情報」「ランプ点灯時間初期化」を 選択し、リモコンの[Enter]ボタン、また は本体の[自動調整/決定]ボタンを押し ます。

リモコン



ランプ点灯時間	: 1900H	
ランプ点灯時間初	期化 → 実行	
映像ソース	: Computer 1	
入力信号	: Analog-RGB	
周波数	:HkHz	
	:VHz	
同期極性	:H	
	: V	
同期モード		
入力解像度	:0x 0	
リフレッシュレー	h: 0.0 Hz	

3 「はい」を選択して、リモコンの[Enter] ボタン、または本体の[自動調整/決定] ボタンを押します。 ランプ点灯時間が初期化されます。



エアーフィルタの交換方法

本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

### 操作

- 1 本機の電源を切り、<u>クールダウン</u><sup>▶</sup>が終 了してから電源ケーブルを外します。 クールダウンの時間は、約30秒間です。
- 2 エアーフィルタカバーのくぼみに指を かけて外側にまっすぐスライドさせて、 エアーフィルタカバーを引き抜きます。 エアーフィルタは2枚あります。



- 3 エアーフィルタカバー内部にある古い エアーフィルタを取り外します。 右図のように同梱のドライバ、または - の ドライバをエアーフィルタとエアーフィ ルタカバーの間に差し込み、外側に倒して 外します。
- 4 エアーフィルタカバーに新しいエアー フィルタを取り付けます。 エアーフィルタの一方のツメをエアー フィルタカバーに差し込み、もう一方をカ チッと音がするまで押し込みます。









使用済みのエアーフィルタは、地域の廃 **業**ルールに従って廃棄してください。

# ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは 消去されます。

### 操作

- ↑ ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンまたは本体の [メニュー]ボタンを押します。
- **2**「ユーザーロゴ」メニューを選択し、 リモコンの[Enter]ボタン、または 本体の[自動調整/決定]ボタンを押 します。

#### 台形補正やEズームを行ってい る場合、「ユーザーロゴ」を選択 ポイント すると、台形補正やEズームは解 除されます。

	<ul> <li>● 実行</li> </ul>
[◆]:選択 [ <b>①</b> ]:実行	[メニュー]:終了

3 サブメニューで「はい」を選択し、リモコ ンの[Enter]ボタン、または本体の[自動 調整/決定1ボタンを押します。

リモコンの[Enter]ボタン、または本体 の[自動調整/決定]ボタンを押すと、映 像信号の解像度のまま表示されるため、 本機のパネル画素数以外の解像度の映 像を投写している場合とビデオ映像を 投写しているときは、表示サイズが変わ ります。



▲ 登録する映像と選択枠が表示されるので、 使う位置を選択します。 リモコンの[ ① ]ボタンを傾ける、または本

体の[同期+][同期 - ][トラッキング+][ト ラッキング - 1ボタンを押して、ユーザーロ ゴとして使いたい部分を選択した後、リモコ ンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/ 決定1ボタンを押します。





5 使用確認画面で「はい」を選択し、リモコ ンの[Enter]ボタン、または本体の[自動 調整/決定]ボタンを押します。



6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、リモ コンの[Enter]ボタン、または本体の[自 動調整/決定]ボタンを押します。



7 保存確認画面で「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。 映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本 機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になりま す。
  - ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

# オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。 これらのオプション品類は2003年3月現在のものです。予告なく変更すること がありますので、ご了承ください。

ハードトラベルケース ELPKS50	デジタルI/Fケーブル ELPKC20
穴シャーマックフラ るとさに使いよう。           交換用ランプ         ELPLP23           (交換用ランプとエアーフィルタ           1セット(2枚))	デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュー タと接続するときに使う <u>DVI</u> ♥用ケーブル です。
使用済みランプと交換します。	デジタルI/Fケーブル ELPKC21
エアーフィルタセット ELPAF02 (エアーフィルタ3セット(6枚)) 使用済みエアーフィルタと交換します。	(DVI-D/DFP20pin用 3m) デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュー タと接続するときに使う <u>DFP♥用ケーブル</u> です。
40型ウィンドウスクリーン <sup>1</sup> ELPHS01 60型ウィンドウスクリーン ELPHS03 透過タイプスクリーンです。( <u>アスペク</u> <u>ト比♥4:3)</u>	D端子ケーブル ELPKC23 (3BNC/D端子用 3m) BSデジタル放送チューナと接続するとき に使います。
60型スクリーンELPSC0780型スクリーンELPSC08100型スクリーンELPSC10携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)	リモコンケーブルセット ELPKC28 (3.5mmミニピンプラグ(オスとオス)10m) (3.5mmミニピンジャック(オスとメス)10m) 離れたところから確実にリモコンを操作 したいときに使います。
携帯スクリーン(50型) ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーン です。(アスペクト比4:3)	リアプロ用ワイドレンズ <sup>2</sup> ELPLR02 (投写距離比:約0.86) 長焦点ズームレンズ <sup>2</sup> ELPLL04
コンピュータケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m) 製品同梱のコンピュータケーブルと同等 品です。	(投写距離比:約5.3~7.1) 中焦点ズームレンズ <sup>2</sup> ELPLM01 (投写距離比:約2.4~3.6) 中焦点ズームレンズ <sup>2</sup> ELPLM02
コンピュータケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピュータケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピュータケーブルでは短 いときの延長ケーブルです。	<ul> <li>(投写距離比:約3.6~5.3)</li> <li>短焦点ズームレンズ<sup>2</sup> ELPLW02</li> <li>(投写距離比:約1.3~1.8)</li> <li>投写距離比=投写距離/投写画面の幅</li> <li>値は設置の目安です。投写条件により変わります。</li> </ul>
コンピュータケーブル ELPKC11 (ミニD-Sub 15pin/5BNC用 1.8m) 5BNC端子のコンピュータと接続するとき に使います。	マルチメディアビューワー ELPDC04 書籍やOHP原稿、スライドを投写するとき などに使います。

1 40型ウィンドウスクリーンは標準ズームレンズ、短焦点ズームレンズ装着時 以外は使用できません。

天井プレート <sup>2</sup>	ELPFC03
パイプ370 (370mm シルバー) <sup>2</sup>	ELPFP04
パイプ570 (570mm シルバー) <sup>2</sup>	ELPFP05
パイプ770 (770mm シルバー) <sup>2</sup>	ELPFP06
2連スタック金具 <sup>2</sup>	ELPMB15
天吊りブラケット <sup>2</sup>	ELPFC02
高天井および化粧天井に取り付 に使います。	けるとき

天吊り金具 <sup>2</sup>	ELPMB14
本機を天井に取り付ける	っときに使います。

2 レンズの交換、および天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い 求めいただいた販売店にご相談ください。

# 用語解説

本製品で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

3-2 プルダウン 機能	映画フィルムと同じ24フレームで記録された映像ソースを、60フレームのプログレッシブ信号へと直接変換する機能です。これにより、24フレームで記録されたDVDソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できます。
5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のこと をいいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 <u>IPアドレス</u> ♥を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DVI (DVI-D)	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格の ことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFP よりも高解像度の画像が転送でき、デジタル信号の暗号化機能もありま す。
HDTV	<ul> <li>High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。</li> <li>・垂直解像度750p、1125i以上 (pはプログレッシブ<sup>▶</sup>走査、iはインタレース<sup>▶</sup>走査)</li> <li>・画面のアスペクト比<sup>▶</sup>は16:9</li> <li>・ドルビーデジタル<sup>▶</sup>音声の受信、再生(あるいは出力)</li> </ul>
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
MACアドレス	Media Access Controlアドレスの略です。MACアドレスはネットワークア ダプタごとの固有のID番号です。すべてのネットワークアダプタは1つ ずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダ プタ間の送受信が行われます。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいい ます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標 準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおい て、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機 器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国 際標準です。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを 呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。

USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのもの を呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのも のを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ(NTSC方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号の ことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になってい る画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合い になり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、 上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表 示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。リモコン、 または本体の[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。 クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正 しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとな り、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて 通信するためのサーバ(ルータ)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッ キリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラス トの調整といいます。
コンポーネ ントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信 号からできている映像をいいます。
コンポジット ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ね て1つの信号にしています。
サブネット マスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークア ドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
スクイーズ モード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に 戻ります。

同期	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されま す。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像 になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせる といいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向 のノイズが出ます。
盗難防止用 ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。
	七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIP アドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータの <u>IPアドレス</u> ♥のことです。
ドルビー デジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つの スピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタース ピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっ ています。
フィルム 判定機能	映像ソースが24Hzプログレッシブのフィルムソースかどうかを判別する 機能です。
プログレッ シブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する 方式をいいます。
リサイズ 表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュー タからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュ レート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。



### <u>コマンドリスト</u>

電源のNコマンドを送信すると、電源がONになり、プロジェクターがコマンド受付け可能になると '3Ah'(:)を返します。

また、コマンド処理が終了した場合も、': 'が返信されます。

' を待つことで、プロジェクターのReady/Busyを知ることができます。
 異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に': 'を送信します。

項	目	コマンド
	ON	PWR ON
电//示UDUI/ UT	OFF	PWR OFF
	コンピュータ1	SOURCE 10
	コンピュータ2	SOURCE 20
信号担けまう	<u>DVI</u>	SOURCE 30
信号切り省え	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
	BNC	SOURCE BO
A/Vミュート機能のON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
		MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

### 通信プロトコル

- ボーレート基準速度 : 9600 bps
- データ長 : 8 bits
- パリティ :なし
- ストップビット : 1 bit
- フロー制御 :なし
- コネクタ形状 : D-sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名 : RS-232C

ケーブル配線

### シリアル接続

- コネクタ形状 : D-sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名 : RS-232C



<コンピュータ側>



EasyMP.netユニットの[USB](Aタイプ)端子は、USBハブとしては使えません。

### USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備 が必要です。

操作

- 1 エプソンホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。 URLは裏表紙をご覧ください。
- 2 お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。 ダウンロード画面の注意事項をお読みください。
- **3** 本機の環境設定メニューで「高度な設定2」「通信ポート」を「USB」に 設定します。
- ▲ 本機の電源を切ります。
- 5 <u>クールダウン</u><sup>▶</sup>が終了後、本機の電源を入れます。 本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。



クールダウンが終了する前に電源ケーブルを抜いた場合は、通信ポート の変更は行われません。

### コンピュータ/RGBビデオ

信号	<u>リフレッシュレート</u> (Hz)	解像度(ドット)	<u>リサイズ表</u> 示 → 時 画素数(ドット)
VGAEGA		640 × 350	1024 × 560
<u>VGA</u>	60/72/75/85/100/ 120,iMac <sup>1</sup>	640 × 480	1024 × 768
<u>SVGA</u> ₽	56/60/72/75/85/100/ 120,iMac <sup>1</sup>	800 × 600	1024 × 768
XGA	60/70/75/85/100/ 120,iMac <sup>1</sup>	1024 × 768	1024 × 768
<u>SXGA</u> ►►	70/75/85/100	1152 × 864 <sup>2</sup>	1024 × 768
SVCA	60/75/95	1280 × 960 <sup>2</sup>	1024 × 768
SAGA	00/75/65	1280 × 1024 <sup>2</sup>	960 × 768
SXGA+	60/75/85	1400 × 1050 <sup>2</sup>	1024 × 768
<u>UXGA</u> ►►	60/65/70/75/80/85	1600 × 1200 <sup>2</sup>	1024 × 768
MAC13 "		640 × 480	1024 × 768
MAC16 "		832 × 624	1024 × 768
MAC19 "		1024 × 768	1024 × 768
MAC21 "		1152 × 870 <sup>2</sup>	1016 × 768
<u>SDTV</u> (525 i ,525p, 625 i ,625p)			1024×768 (4:3 <u>アスペクト比</u> ) 1024×576 (16:9アスペクト比)
<u>HDTV</u> ► (750p)			1024 × 576
HDTV (1125i ,1125p)			1024 × 576

1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

2 リアル表示時は仮想(ウィンドウ)表示になります。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。 ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信品	表示モード(ドット)	
	4:3 <u>アスペクト比</u> ♥表示	16:9アスペクト比表示
<u>SDTV</u> (525i,525p,625i,625p)	1024 × 768	1024 × 576
<u>HDTV</u> ➡ (750p) 16:9		1024 × 576
HDTV (1125i) 16:9		1024 × 576

### コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	表示モード(ドット)	
	4:3 <u>アスペクト比</u> ♥表示	16:9アスペクト比表示
TV (NTSC)	1024 × 768	1024 × 576
TV (PAL, SECAM)	1024 × 768	1024 × 576

仕様一覧

商品名	マルチメディアプロジェクター EMP-8350/8350NL
外形寸法	幅349×高さ202×奥行き491mm(フット含まず)
パネルサイズ	1.4型
表示方式	ポリシリコンTFT
画素数	<u>XGA</u> ♥ 786,432個(横1024×縦768ドット)×3
フォーカス調整 <sup>1</sup>	電動式
ズーム調整 <sup>1</sup>	電動式(約1:1.35)
レンズシフト <sup>1</sup>	電動式(10:0 ~ 0:10)
ランプ(光源)	UHEランプ 定格320W 型番:ELPLP23
音声最大出力	7₩モノラル
スピーカ	1個
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC 定格消費電力480W スタンバイ時 ネットワーク無効:1.5W(100V時) ネットワーク有効:60W(100V時)
使用温度範囲	+5 ~ +40 (結露しないこと)
保存温度範囲	- 10 ~ + 60 (結露しないこと)
質量	EMP-8350 :約12.0kg EMP-8350NL:約10.0kg(レンズ無し)
CPU	SEIKO EPSON CARD-PCI/CEL400
メモリ容量	SDRAM 128MB
ハードディスク	20GB
MPEG Decoder	SIGMA DESIGNS EM8476
OS	Windows XP Embedded

接続端子	DVI端子:	1系統	DVI -D							
	音声入力端子:	1系統	ステレオミニピンジャック							
	コンピュータ1端子:	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス) 青色							
	音声入力端子:	1系統	ステレオミニピンジャック							
	コンピュータ2端子:	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス) 青色							
	音声入力端子:	1系統	ステレオミニピンジャック							
	USB端子 <sup>2</sup> :	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)							
	BNC端子:	1系統	5BNC(メス)							
	音声入力端子:	1系統	RCAピンジャック×2 (L,R)							
	S-ビデオ端子:	1系統	ミニDIN 4pin							
	音声入力端子:	1系統	RCAピンジャック×2 (L,R)							
	ビデオ端子:	1系統	RCAピンジャック							
	音声入力端子:	1系統	RCAピンジャック×2 (L,R)							
	RS-232C端子:	1系統	D-Sub 9pin(オス)							
	リモート端子:	1系統	ステレオミニピンジャック							
	モニタ出力端子:	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス) 黒色							
	音声出力端子:	1系統	ステレオミニピンジャック							
	ネットワーク端子:	1系統	RJ-45							
	SPDIF端子:	1系統	SPDIF同軸コネクタ(RCAピン ジャック)橙色							
	USB端子 <sup>2</sup> :	2系統	USBコネクタ(Aタイプ)×2							
Card Slot (カードスロット)	PCMCIA Type slot×2									

1 標準レンズを装着した場合です。他のオプションレンズを装着している場合は、レ ンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

2 USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

#### Safety

USA UL1950 3<sup>rd</sup> Edition Canada CSA C22.2 No.950-95 (cUL) European Community The Low Voltage Directive (73/23/EEC) IEC60950 2<sup>nd</sup> Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

# 外形寸法図



# 索引

### 数字・アルファベット

13w3端子17
5BNC端子 18
Analog-RGB 74,85
A/Vミュート 60,80
BNC Sync ターミネーション 84
BNC入力 81
BSデジタルチューナの映像 27
Digital-RGB 74,85
D端子ケーブル 27,112
Eズーム 62
ESC/VP21 117
HDTV 120
PinP機能 63
Quick Corner 49
RGB 82
RGBビデオ 28
RS-232端子 132
sRGB 57,75,77
S-ビデオ 25,76,85
S-ビデオ端子 132
USBケーブル 22
USB端子 132
USB通信 119
USBマウス 22
YCbCr 40,76,85
YPbPr 40,76,85

アイウエオ

### ア

明るさ75,77
アスペクト比71
色合い
色温度
色の濃さ
インジケータ
エアーフィルタ129
エアーフィルタの交換方法108
エアーフィルタの掃除103
映像ソース85
映像メニュー74
エフェクト機能65
オーディオケーブル30
オーバーヒート
オプション品112
オペレーションインジケータ91,128
音声出力端子
音声入力端子
音声メニュー
温度インジケータ
音量

### カ

解像度120
外部モニタ
各部の名称と働き128
カラー調整82
カラーモード
環境設定メニューの機能と操作74
輝度切替84
吸気口128
曲線
クールダウン43,93
黒レベル
ケーブルカバー36
言語
高音
高輝度

高度な設定1メニュー82
高度な設定2メニュー84
故障かなと思ったら91
コントラスト 75,77
コンピュータ1端子 132
コンピュータ1入力 80
コンピュータ2端子 132
コンピュータ2入力 80
コンピュータケーブル 16
コンピュータとの接続 15
コンポーネントビデオ 26
コンポジットビデオ

# サ

サブメニュー       74         シアター       57,75,77         自動調整       54,84         シャープネス       75,77         周波数       86         終了方法       43         仕様一覧       122         使用温度範囲       122         情報メニュー       83         ズーム調整       45         スクイーズモード       71         スクリーンサイズ       12         スタートアップスクリーン       82         スピーカ       30,32,128         スリープモード       81         静止       61         接続端子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       86         全初期化メニュー       86         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	
シアター       57,75,77         自動調整       54,84         シャープネス       75,77         周波数       86         終了方法       43         仕様一覧       122         使用温度範囲       122         情報メニュー       85         白レベル       83         ズーム調整       45         スクイーズモード       71         スクイーズモード       71         スクリーンサイズ       12         スタンバイモニタアウト機能       35         スピーカ       30,32,128         スリープモード       81         静止       61         接続ご子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       86         全初期化メニュー       86         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	サブメニュー74
自動調整	シアター 57,75,77
シャープネス	自動調整 54,84
周波数       86         終了方法       43         仕様一覧       122         使用温度範囲       122         情報メニュー       85         白レベル       83         ズーム調整       45         スクイーズモード       71         スクリーンサイズ       12         スタートアップスクリーン       82         スタンバイモニタアウト機能       35         スピーカ       30,32,128         スリープモード       81         静止       61         接続ご子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       80         全初期化メニュー       80         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	シャープネス
終了方法	周波数 86
仕様一覧       122         使用温度範囲       122         情報メニュー       83         白レベル       83         ズーム調整       45         スクイーズモード       71         スクリーンサイズ       12         スタートアップスクリーン       82         スタンバイモニタアウト機能       30,32,128         スリープモード       81         静止       61         接続できるコンピュータ       15         接続端子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       86         全初期化メニュー       86         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	終了方法 43
使用温度範囲	仕様一覧 122
情報メニュー       85         白レベル       83         ズーム調整       45         スクイーズモード       71         スクリーンサイズ       12         スタートアップスクリーン       82         スタンバイモニタアウト機能       35         スピーカ       30,32,128         スリープモード       81         静止       61         接続できるコンピュータ       15         接続端子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       80         全初期化メニュー       80         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	使用温度範囲 122
白レベル83ズーム調整45スクイーズモード71スクリーンサイズ12スタートアップスクリーン82スタンバイモニタアウト機能35スピーカ30,32,128スリープモード81静止61接続できるコンピュータ15接続端子40,132設置方法11設定メニュー80全初期化メニュー80操作可能範囲(リモコン)10操作パネル130	情報メニュー85
ズーム調整45スクイーズモード71スクリーンサイズ12スタートアップスクリーン82スタンバイモニタアウト機能35スピーカ30,32,128スリープモード81静止61接続できるコンピュータ15接続端子40,132設置方法11設定メニュー80全初期化メニュー80操作可能範囲(リモコン)10操作パネル130	白レベル 83
スクイーズモード	ズーム調整 45
スクリーンサイズ	スクイーズモード71
スタートアップスクリーン82 スタンバイモニタアウト機能35 スピーカ	スクリーンサイズ 12
スタンバイモニタアウト機能 35 スピーカ	スタートアップスクリーン82
スピーカ	スタンバイモニタアウト機能 35
スリープモード	スピーカ 30,32,128
静止       61         接続できるコンピュータ       15         接続端子       40,132         設置方法       11         設定メニュー       80         全初期化メニュー       80         操作可能距離(リモコン)       10         操作可能範囲(リモコン)       10         操作パネル       130	スリープモード81
接続できるコンピュータ	静止61
接続端子	接続できるコンピュータ15
設置方法	接続端子 40,132
設定メニュー80 全初期化メニュー	設置方法 11
全初期化メニュー86 操作可能距離(リモコン)10 操作可能範囲(リモコン)10 操作パネル130	設定メニュー80
操作可能距離(リモコン)10 操作可能範囲(リモコン)10 操作パネル130	全初期化メニュー86
操作可能範囲(リモコン) 10 操作パネル 130	操作可能距離(リモコン)10
操作パネル 130	操作可能範囲(リモコン)10
	操作パネル 130

# タ

ターゲットスコープ62
対応解像度120
台形にゆがむ場合の補正49
台形補正49,52,80
待機モード83
ダイナミック57,75,77
高さ補正53
タテ補正52
通信ポート84
直線66
低音
低輝度84
テンキー131
電源ケーブル38
電源端子129
電池のセット方法と交換時期8
天吊り11,83
天吊固定部124,129
同期54,75
同期極性86
同期モード86
投写
投写角度46
投写距離12
投写サイズ12,45
盗難防止用ロック128
トップメニュー74
トラッキング54,75

# ナ

入力解像度7	<b>′</b> 5
入力信号8	35
ネットワーク8	34
ネットワーク端子13	32
ノーシグナル表示8	30

# 八

排気口	 											. 1	12	28
ハンドル .	 											. 1	12	28
ビデオ映像											7	6	8	5

ビデオ機器との接続 24
ビデオ信号方式 77,85
ビデオ端子 132
表示位置54,75,77
ピント 46
フォーカス調整46
フット調整 48
プリセット機能 67
プリセット登録76
プレゼンテーション 57,75,77
プレビュー機能 41
プログレッシブ変換 82
プロジェクターID 72
フロントフット 128
ヘルプ機能 90
ポインタ 65
ポインタ移動速度 79
保存温度範囲122
本体の掃除 102

### マ

マウスポインタ	23
ミニD-Sub 15pin端子	16
メッセージ表示	80
メニュー	74
モニタ出力端子	132

### ヤ

ユーザーロゴ	60,110
ユーザーロゴメニュー	81
用語解説	114

### ラ

ランプインジケータ	91,128
ランプ点灯時間	85
ランプ点灯時間の初期化	85,107
ランプの交換時期	104
ランプの交換方法	105
ランプカバー	129
リア	11,83
リアスクリーン	11

リアル表示65	9
リサイズ表示65	9
リビング57,75,7	7
リフレッシュレート8	6
リモート端子131,13	2
リモコン8,9,22,13	1
リモコンID7	2
リモコン受光部128,12	9
リモコンスイッチ	1
リモコン発光部13	1
レンズカバー12	8
レンズシフト調整4	7
レンズの掃除102	2

# ワ

ワークステーション .	 		•	 	 17
ワイドサイズの映像 .	 			 	 71
ワイヤレスマウス機能				 	 22

# 各部の名称と働き

標準レンズを装着している場合を例として記載しています。

### 前面/上面/側面



底面





#### 本体操作パネル

説明のないボタンは、リモコンに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。



#### 各部の名称と働き

### リモコン



131

#### 各部の名称と働き

### 入出力端子



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、 お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので ご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使 用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に 合った純正電源ケープルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦め します。

#### 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

#### 商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。 Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。

Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重 いたします。

# **EPSON**

#### ●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

129-9:10 エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141(全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

\*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

\*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	受付電話 365日受付可	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同右	098-852-1420

\*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。 \*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日〜金曜日 9:00〜17:30(祝日、弊社指定休日を除く) \*修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110(ナビダイヤル)※【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日10:00~17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

\*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263)54-5800までお電話ください。

\*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電 電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305 ●ショールーム \*詳細はホームページでもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿	〒160-8324	東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
	【開館時間】	月曜日~金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く
エプソンスクエア御堂筋	〒541-0047	大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
	【開館時間】	月曜日~金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く

#### MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! http://myepson.i-love-epson.co.jp/ トカンタンな質問に答えて 会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。 ●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。



82202002





Printed in Japan 404347101 03.05-.3A(C05)

この取扱説明書は100% 再生紙を使用しています。 環境にやさしい大豆油インキ を使用しています。